

やっでは いけない 育毛・発毛法

危険!

ハゲは誰がつくるのか? あなたの知らない驚きの真実!

理学博士
伊藤勝文 著

もっと
はやく知りたかった!
知っていたかった!

知らなかったでは済まされない
危険な育毛・発毛法。
髪と体の健康は自分で守るしかない!

現代書林

危険！ やってはいけない 育毛・発毛法

ハゲは誰がつくるのか？あなたも知らない驚きの真実！

著者 理学博士 伊藤勝文

第一章 頭がかゆい！かゆみは頭皮の SOS です

皮膚のかゆみは、これだけ多くの原因がある
洗髪してすぐかゆみがあれば、犯人はシャンプー剤かも
たかがシャンプー剤・・・その気持ちが大きな過ちの元
洗髪後のこんな処理からもかゆみが
かゆみが続くようなら、頭皮のデドックスを

第二章 あなたの洗髪、それで大丈夫ですか？

悪いシャンプー剤はここで分かる
合成界面活性剤は頭部の細菌を異常繁殖させる
シャンプー剤は、化学物質のかたまりと思ひましょう
化学合成香料はアレルギーの原因にも
着色シャンプーには、あのタール系色素が使われている
フケ・カユミ止めシャンプー剤、抗菌シャンプー剤には劇薬が
石鹼だから大丈夫、安心・・・これは過信です
こんな危険なリンスを使い続けますか？

第三章 毛染めは危ない！脱毛を早めるだけです

白髪染めをすると、全頭が白髪になる
白髪染めの第1剤は髪に回復不可能なダメージを
白髪染めの第2剤(オキシドール)は頭皮と角質を破壊する
ヘアカラーには「環境ホルモン」が入っている？
ある日突然、ヘアカラーのアレルギーはやってくる
手軽なヘアマニキュアにも安心できない
黒く染まる植物性の染毛剤にはタール系色素が

第四章 間違った発毛法でハゲないために

テレビCM＝効果の保証という方程式は成り立たない
テレビ宣伝費は誰が払っているのでしょうか？
理論の裏づけのない発毛・育毛宣伝があふれている
特許＝発毛を証明する「お墨つき」と思っはてはいけない
低周波で発毛する？そんな科学的な根拠はない
高周波も根拠がないばかりか、かえってハゲる不安が
オゾン化イオン水のスチーミングは異常脱毛を引き起こす
信頼できない業者にはくれぐれも注意し、泣き寝入りは止めましょう

第五章 合成ホルモン剤「飲む育毛剤」で、男性型脱毛症は治らない？

どこへ行ってもダメだった男性型脱毛が治った！
医療行為だからといって、100%発毛する保証はない
飲む育毛剤・フィナステリドは、本当に男性を救うのか？
作用は、男性型脱毛の進行を遅らせることにある
男性機能を低下させる副作用を知っていますか？
さあ、フィナステリドを飲みますか？それとも・・・

第六章 女性のみなさん、髪をピンチから守りましょう

発毛・育毛サロンは回復実績が出せていない
嗜好品では、アルコールに注意しましょう
おやつを食べるなら、和菓子がお勧め
合成甘味料入りの飲みものも脱毛の原因になる
タバコは、髪をつくる細胞を栄養不足にする

第七章 子供をハゲさせない知恵も親の愛情です

幼児に増えている脱毛症の回復は、まずスキンシップから
小学生の脱毛ではストレスが怖い
高カロリー・高脂肪食が、小学生男子を男性型脱毛症に
女の子の脱毛では、愛情の飢えとストレスに気配りを
何ととっても、良質なタンパク質を摂らせましょう

第八章 医療で円形脱毛症は治るのでしょうか？

なぜ、皮膚科で円形脱毛症は治らない？
液体窒素で皮膚を凍傷にしてどうするのですか？
注射による治療はまったく意味がない
ステロイド剤は発毛の機会を奪う
女性へのミノキシジル使用は許されるのか？
円形脱毛症の原因は、皮膚の真菌にあった
清潔な枕カバー。それが円形脱毛症の手当の始まり
論より証拠。真菌への着目で男の子の円形脱毛症が治った

第九章 食事とケアで脱毛のリスクを減らしましょう

異常脱毛は秋・冬に多く発症する
数ヶ月の生活を振り返ってみましょう
生活から、秋・冬の毛髪ケアを考えましょう
育毛のための秋の食事の基本は、旬のものを摂ること
野菜では、硝酸塩の摂りすぎに注意しましょう
冬の食事の基本は、何ととっても「身体を温める」こと
夏の洗髪が秋・冬の脱毛を握っている
夏は、ビタミンやミネラル補給を忘れずに
冷たい飲み物に注意し、体調維持に万全を
育毛ケアには、細胞代謝をうながすソフトレーザーも有効

第十章 薄毛・脱毛症の方は育毛用ウィッグを使いましょう

時代はオーダーウィッグの時代に
オーダーウィッグの自己表現が女性を健康で長生きにする
女性のオーダーウィッグは部分用がお勧め
抗がん剤の脱毛に、ウィッグを活用する男性も
医療用ウィッグで頭皮を大切にしましょう
男性用ウィッグで、毛髪コンプレックスを吹き飛ばしましょう
技術者次第で、カツラと分からない男性用ウィッグはつくれる
貼りつける男性用部分カツラは、二度と生えてこない恐れも
ウィッグは週に1度は洗い、除菌消臭剤でケアを

第一章 頭皮がかゆい！

かゆみは頭皮の SOS です

頭皮のかゆみは、これだけ多くの原因がある

最近、頭皮がかゆくなったりしませんか？

男性・女性を問わず、子供から年配の方まで、頭皮をはじめ皮膚のかゆみを訴える方が非常に増えています。首筋や額の生え際もかゆくなったり、ひどい場合は全身がかゆくなったりすることがあります。

そうしたことから、製薬会社から相次いでかゆみ止めの薬が発売されています。それだけ、たくさんの方が苦しんでいることでしょう。

皮膚のかゆみの原因は一つではありません。一般的には表皮の乾燥が主な原因と考えられますが、その乾燥の原因はいろいろあります。

- ①年齢からくるもの
- ②食生活からくるもの
- ③嗜好品の関係からくるもの
- ④生活環境からくるもの
- ⑤暑さ・寒さからくるもの
- ⑥化学物質過敏症からくるもの
- ⑦環境ホルモンの影響からくるもの
- ⑧細菌感染からくるもの
- ⑨汗をかいたあと、急に血液循環がよくなったとき
- ⑩不潔にしているとき

このように、かゆみの原因は、実にたくさんあるのです。

全身的なかゆみはアレルギー反応やアトピー性皮膚炎の場合によく起きます。また、水道水の塩素に反応して、かゆみが起きることが考えられます。アトピー性皮膚炎の方が頭皮にも症状が出ると脱毛を始めます。

洗髪してすぐかゆみがあれば、犯人はシャンプー剤かも

皮膚は、身体を外界から守るものです。そのために、皮膚で感じた異常と刺激は脳に知らせがいきます。頭皮のかゆみは、頭皮の異常を知らせるものです。

かゆいとき、私たちは爪でかきます。爪でかくとかゆみは治りますが、それは、より強い刺激を与えることで脳はかゆみを忘れるからです。

しかし、いくらかいてもかゆみが治らないと、血が出るまでかいてしまいます。そのため、皮膚がかさぶただらけになっている人をたまに見かけます。

血が出るほどかくと、皮膚が傷つきます。その傷から、表皮ブドウ球菌などの細菌が皮膚の内部に入り込み、思わぬ皮膚病になったり、脱毛の原因になったりもします。かゆみがあるからといって、そこを引っかけばよいという考えは危険です。

また、絶え間なく続くかゆみから不眠症やストレスも、イライラがつのって大変なストレスを感じたりします。不眠症やストレスも、脱毛の原因になります。

頭に汗をかいてそのまま洗髪しないと、頭皮がかゆくなります。汗の成分のナトリウムが肌を刺激してかゆみが発生するのです。

いつも頭皮を清潔にしていれば、かゆみはまず起こりません。しかし、洗髪してすぐにかゆみが出るようであれば、洗髪に何か問題があると思わなくてはなりません。

まず、洗髪に使用したシャンプー剤です。皮膚のタイプには乾性、脂性、敏感肌、普通肌の 4 タイプがあります。自分の皮膚のタイプに合わないシャンプー剤を使っていると、洗髪後にかゆみが出る場合があります。

皮膚のタイプに合ったシャンプー剤を使っているとしても、頭皮に何らかのトラブルを抱えていたりする場合もあります。シャンプー剤によってその皮膚トラブルが刺激され、かゆみを引き起こすことになるのです。

毎日洗髪する人、仕事柄よく汗をかく人は、1日に二度三度と洗髪することもあるでしょう。夏には、かなりの方が朝晩に洗髪するでしょう。

香りがいいからとか、宣伝しているからとか、価格が安いなどでシャンプー剤を選んではいけません。自分に適したシャンプー剤を選ぶことは、頭皮にとって非常に大切なことなのです。それがかゆみを出さず、ひいては脱毛を防ぐことにもなります。

たかがシャンプー剤・・・その気持ちが大きな過ちの元

市販されているシャンプー剤やプロが使うシャンプー剤のほとんどには、合成界面活性剤を入れればこと足りることで、安くシャンプー剤がつくられるからです。

ちなみに、この合成界面活性剤は石油からつくられているものが多く、台所で使っている合成洗剤に使われているものと同じものです。

頭皮の皮脂は、角質を守っている非常に大切なものです。

合成界面活性剤の強力な脱脂作用で皮脂を取りすぎてしまうと角質が乾燥し、肌をいろいろな細菌から守るバリアゾーンの働きができません。そのため、フケが多く出たり、その異常を知らせるためにかゆみが出たりもします。

もっと怖いことに、この合成界面活性剤は皮膚の内部に簡単に入り込みます。皮膚の内部に簡単に入り込みます。皮膚の内部に入り込んだ合成界面活性剤は、髪をつくっている毛乳頭の細胞を溶かしてしまいます。いうまでもないでしょうが、脱毛原因になります。さらに内臓を溶かしたり、精子や卵子を溶かしたり、奇形の精子をつくる原因になるともいわれています。不眠症の人が多くなっているとか、子宮内膜症の原因にも疑われている恐るべき化学物質なのです。

そのうえ、シャンプー剤に合成香料や化学合成の防腐剤が入っていたりすると、頭皮の皮下組織などに吸収され、蓄積されています。その結果、皮膚の正常な新陳代謝がおこなわれなくなり、頭皮の異常を招いたり、細菌感染からかゆみが出てくることが考えられます。

たかがシャンプー剤と思わないでください。シャンプー剤は、身体にも毛髪にも本当に良いものを選ぶことです。シャンプー剤については、第二章でもう少し詳しくお話ししたいと思います。

洗髪のコんな処置からもかゆみが

寒くなってくると、洗髪がおっくうになってきます。せっかくお風呂で温まった身体も、髪が濡れているとすぐに冷えてしまいます。頭皮に汗をかかないこともあってか、あまりかゆみも出ません。

また、それをよいことに、週に2度かせいぜい3度の洗髪になってしまいます。外気温(室温)が低いとき、いつまでも髪を乾かさずにいると、体温を下げることになります。頭皮温も下がりますので、健康上からも、育毛上からも注意が必要です。

半乾きの状態で寝ますと、頭部常在菌のバランスが崩れ、細菌の増殖を招きます。このことがかゆみや脱毛症の原因となります。かといって、ドライヤーにも不安があります。

洗髪後のドライヤーは、スタイリングしやすくなります。それは、髪の毛のケラチンたんぱくに、乾燥すると硬くなる性質があるからです。しかし、長時間にわたってドライヤーを使ったり、一部分に熱風を集中して当てたりすると、髪本来の水分を奪ってしまうことになります。

また、髪の毛のいちばん外側にある毛表皮(キューティクル)がはがれ、毛皮質や毛髄質まで傷めることになります。その結果、枝毛や切れ毛が出やすくなり、薄毛や脱毛の原因になってしまいます。

なお、男性では、洗髪後にヘアートニックをつける方もおられるでしょう。

「ヘアートニックはフケ・かゆみを抑えます」
化粧品会社などはこう宣伝しています。

ヘアートニックはアルコールと水、香料が主成分です。アルコールのために、使うと頭皮がすっとなります。頭皮や毛髪のためによいと思っている方もおられるようですが、頭皮や毛髪に寄与するものは何もありません。

いえ、寄与しないどころか、アルコールは頭皮を乾燥させてかゆみの原因になります。さらに、毛髪のケラチンたんぱくを破壊してもろくし、切れ毛や枝毛が出ます。ヘアートニックを使用する必要はまったくありません。

ヘアースプレーも、工業用アルコールがしっかり入っています。合成の粘着成分や合成香料が加えられていることも多く、ヘアースプレーもかゆみを引き起こす恐れがあります。



かゆみが続くようなら、頭皮のデドックスを

次のような場合は、危険なシグナルが点灯していると思ったほうがよいでしょう。

- ①頭皮のかゆみがいつまでも続く場合
- ②かゆみが皮膚の深いところからくるような感じがした場合
- ③洗髪しても頭皮が不快な匂いのする場合
- ④洗髪後、頭皮が乾燥して突っ張った感じになる場合
- ⑤洗髪後、すぐに頭皮がベトベトした感じになる場合

こうした場合は、頭皮のデドックスをお勧めします。

頭皮は、バリアゾーンとしての働きで細菌感染を防いでいます。

しかし、近年のシャンプー剤やリンス、トリートメントには合成界面活性剤が使われ、いろいろな化学物質がいたも簡単に皮下組織に吸収されていきます。その他、染毛剤、ヘアスプレーの合成香料、パラベンやエデト酸塩などの化学合成防腐剤などが皮膚のなかに吸収されると、自然には排泄されません。

そのため、頭皮の正常な生理機能が衰えて細菌の異常繁殖を招いたり、頭皮が乾燥したり、臭い匂いがしてくるのです。これは脱毛原因につながります。

ヘッドデドックスをおこなうと、経皮吸収されたそれらの化学物質や、過剰な皮脂が除去されます。正しいヘッドデドックスの方法は、ここでは詳しく触れませんが、私が研究開発したこの技法は、現在、ワールドサイエンスでのみ行っています。頭皮の浄化と活性を促してから、育毛剤やヘアローションの効果も上がるもので、育毛・毛髪回復に大きく貢献をしています。

第二章 あなたの洗髪、それで大丈夫ですか？

悪いシャンプー剤はここで分かる

第一章でシャンプー剤について少し触れましたが、ここでもう少し詳しくシャンプー剤のことをお話したいと思います。

最近、テレビCMで、シャンプー剤の宣伝合戦が激しくなっています。

シャンプー剤選びは大切な育毛要件で、悪いシャンプー剤を使い続けると脱毛症になる危険もあります。では、悪いシャンプー剤はどんなシャンプー剤なのでしょう？

洗髪後、次に挙げるような感じがあれば、あなたは悪いシャンプー剤を使っています。

- ①頭皮にかゆみが出る
- ②頭皮が乾燥する
- ③頭皮に湿疹が出る
- ④頭皮が赤くうっ血する
- ⑤頭皮が白く粉を吹いたようになる
- ⑥髪がキシキシする
- ⑦髪の手触りが悪く感じられる
- ⑧髪ツヤが消える、またツヤが出ない
- ⑨髪がベトツとする
- ⑩髪が妙に軽くなった感じがする
- ⑪洗うたびにフワフワの髪になっていく
- ⑫香料の匂いがなかなか消えない
- ⑬クシやブラシの通りが悪くなった
- ⑭毛染めの色がすぐに脱色する
- ⑮パーマをかけた髪を洗うとキシんで、ショボショボになる
- ⑯シャンプー後に、必ずリンスやトリートメントをしないとガサガサ、ゴワゴワになる
- ⑰シャンプー剤で身体を洗うとかゆくなる
- ⑱髪に突っ張った感じがする
- ⑲妙に化学物質の匂いがする
- ⑳成分に石油系の合成界面活性剤を使用している

こうした感じのある悪いシャンプー剤を使っていると、確実に脱毛症への道を歩くことになります。それは最悪の結果を招くことになるでしょう。

長年にわたってヘア・カウンセリングをしてきていますと、シャンプー剤がいかにかヘアケアに大切かを痛感させられます。髪や頭皮の状態は一人ひとりによって違います。それぞれの髪や頭皮の状態に合ったシャンプー剤を使うことが大切です。

合成界面活性剤は頭部の細菌を異常繁殖させる

正常な頭皮を維持することは、育毛上からも、また異常脱毛を引き起こさないようにするためにも非常に必要です。そのために良質のシャンプー剤を使うようにしましょう。

先にお話しましたが、市販品のシャンプー剤の多くには、合成界面活性剤が入っています。皮脂や頭皮の汚れを取るためには界面活性剤がなければなりません、石油からつくられた化学合成界面活性剤はその作用が強すぎます。

家庭用食器洗剤にも、食器汚れを落とすために、石油を原料とする合成界面活性剤が入っています。最近の食器洗剤は汚れを落とすパワーが強力になっていますが、その秘密が合成界面活性剤なのです。シャンプー剤にも、これと同じ強力な化学合成界面活性剤が使われているのです。

シャンプー剤に使われている合成界面活性剤には、次のようなものがあります。

- ①ラウリル硫酸ナトリウム
- ②ラウレス硫酸ナトリウム
- ③ポリオキシエチレンアルキルエーテル硫酸塩
- ④パレス・ベヘレス(ポリオキシエチレンエーテル・AE)

合成界面活性剤入りのシャンプー剤を使うと、皮脂を取りすぎることで、頭皮の異常乾燥を招き、角質の異常もきたします。それが細菌の異常繁殖を引き起こし、かゆみや異常なフケを出す原因になります。

細菌にはいろいろなものがありますが、そのなかには円形脱毛症や多発性脱毛症の原因になる真菌(カビ)があります。もっとも、この真菌だけでは円形脱毛症にならないものの、免疫力の低下をもたらす要因と外的要因が重なると、円形脱毛症になる危険性が限りなく高くなります。

そのうえ、シャンプー剤の合成界面活性剤は頭皮から吸収されます。これを「経皮吸収」といいますが、髪をつくる細胞である毛乳頭を消滅させ、無毛症にします。

身体に吸収された合成界面活性剤は内臓を溶かし、精子や卵子も溶かして消滅させます。不妊症の原因や子宮内膜症の隠れた原因として、この合成界面活性剤が疑われているのです。

シャンプー剤は、化学物質のかたまりと思ひましょう

合成界面活性剤がいかに怖いものか、いまの話でお分かりになったでしょう。しかも、市販のシャンプー剤には、合成界面活性剤だけでなく、台所用洗剤より有害な化学物質が入っています。

- ①安息香酸塩など(防腐剤)
- ②エデト酸塩、ジブピルヒドロキソトルエンなど(酸化防止剤)
- ③プロピレングリコール(PG)、ジエタノールアミンなど(保湿剤や乳化剤)

これらがシャンプー剤に配合されている有害な化学物質で、他の化学物質の侵入を助けてしまいます。



頭皮は角質層が薄いため、皮膚から吸収されやすい状態です。さらに、入浴時には体温が上がり、こうした化学物質が皮膚から吸収されやすくなっています。合成界面活性剤やプロピレングリコールが頭皮に付けば、皮膚バリアーが破壊されます。そこから、他の有害物質までもが簡単に体内に浸透していくことになります。

これら危ない化学物質はそのままでは排泄されず、体内に蓄積していくばかりです。考えただけで、ゾッとしませんか？

とくに、プロピレングリコールが入っているシャンプー剤には要注意です。プロピレングリコールは頭皮のバリアーを破壊するだけでなく、化学物質(環境ホルモン)を体内に運び込む「運び屋」だからです。

実は、プロピレングリコールは、車などの不凍液の成分として使用されていた物質です。現在、医療品、消毒剤、歯磨き剤、食品、化粧品など、日常よく使われる日用品の乳化剤や湿潤剤として使用されています。

この物質は溶血性があり、赤血球が減少する恐れもあります。染色体異常を引き起こしたり、カビの成長や酵母の発酵を阻害するともいわれています。シャンプー剤を選ぶ際、まずこのプロピレングリコールが入っていないことを確認しましょう。

化学合成香料はアレルギーの原因にも

シャンプー剤では、化学合成香料にも注意しましょう。

芳香剤の原料は、いままでは植物、鉱物、動物から直接抽出されてきました。

しかし、自然の材料から芳香剤の原料を抽出するには費用がかかりすぎたり、生産量に限界があります。そこで、いまは化学合成された芳香剤が主体になっています。化学構造を少し変えるだけで、新しい香料をつくり出すことが可能だからです。

薬学博士の竹内米司先生と稲津教久両先生の共著に、『経皮毒』という本があります。「経皮毒」というのは、「経皮吸収によって吸収される有毒性の物質」という意味です。

その本によりますと、芳香性化学物質として次のようなものが挙げられています。

- ①オイゲノール
- ②イソオイゲノール
- ③桂皮アルデヒド
- ④桂皮アルコール
- ⑤安息香酸

これら芳香性化学物質は皮膚から吸収され、アレルギー反応を誘発します。また、発ガン性があったり、内分泌系にも影響を及ぼします。

竹内・稲津両先生のその本では、「とくに 12 歳以下の子供は芳香性化学物質に対して感受性が高く、簡単にアレルギー反応を引き起こしてしまう」と書かれています。

そこで、天然のものと化学合成香料の見分け方が大切になります。

最も簡単な見分け方は、天然系のほとんどのものは香りが一時的で、すぐに消えてゆくことです。逆に、いつまでも香りが消えないものは、まず化学合成香料が使われていると見て間違いありません。

ただ単に良い香りというだけで、芳香剤が入ったシャンプー剤を選んで使っている方もおられるでしょう。実は、それは非常に危険なことなのです。

いま使っているシャンプー剤に化学合成香料が使われているようであれば、すぐに使用を止めるようにしましょう。シャンプー剤を買う場合には、ぜひ化学合成香料が使われていないものを探そうにしてください。

着色シャンプー剤には、あのタール系色素が使われている？

シャンプー剤に、たまに色のついた製品が売られていることがあります。

薄い緑色は、何となく植物を連想します。薄い青色は、なぜか海のブルーを思い出すような錯覚に陥ります。また、清潔感とか健康性、神秘性さえも抱かせます。

消費者の気持ちをくすぐるために、メーカーはシャンプー剤にこうした色をつけます。

ご存知でしょうか？色のついたシャンプー剤には、着色剤が使われています。着色剤にはウコン、紅花、赤ビート、カロチンなどの天然色素とタール系の合成色素があります。

食品では、使用禁止の着色剤が細かく決められています。しかし、シャンプー剤やリンス、化粧品、口紅、頭髮用化粧品、毛染め液には厳しい規定はなく、食品では使用禁止の着色剤がかなり多く使われています。

とくに危ない合成色素が、タール系色素です。

タール系色素は危険な化学物質で、皮膚からの浸透率が高く、皮膚障害やアレルギー反応を引き起こします。ときには、アナフィラキシーショック症状を引き起こします。

アナフィラキシーショック症状は、激しいアレルギー反応によるショック症状です。急性のひどい呼吸困難、口、喉などの激しい痛み、せき、血液循環の悪化などを起こし、最悪の場合は死に至ることもあります。

さらに、タール系色素は黒皮病の原因ともいわれ、多くは発ガン性が疑われています。

先の『経皮毒』によりますと、次のようなものが危険なタール系色素です。

- ①黄色・・・200号台
- ②緑色・・・200号台
- ③赤色・・・200号台
- ④青色・・・200号台
- ⑤ダイダイ色・・・200号台と400号台
- ⑥褐色・・・201号
- ⑦黒色・・・401号
- ⑧紫色・・・201号と401号

シャンプー剤を選ぶとき、色を判断材料にすると危険です。シャンプー剤選びでは、着色剤にも十分に気をつけるようにしましょう。

フケ・かゆみ止めシャンプー剤、抗菌シャンプー剤には劇薬が

フケが出ると、意外に気になるものです。とくに、ダークな色調の服の肩にフケがついていると目立ち、不潔な感じがしていやなものです。

フケは、頭皮の角質層がはがれ落ちたものです。

脱脂作用の強いシャンプー剤で洗いすぎたり、ストレスや夜更かしで胃腸の調子を崩したり、動物性脂肪を取りすぎた場合に起こるケースがあります。また、アトピー性皮膚炎や接触性皮膚炎が起きると、フケが出るようになります。

フケが気になると、ついついフケ止めシャンプー剤を使ってしまう場合も多いかもしれません。また、フケ予防のために、フケ止めシャンプー剤を使っている方もいるかもしれません。

かゆみ止め、かゆみ止めシャンプー剤には、たとえば、ジンクピリチオン(Zpt)やマイクロジンクピリチオン(M-Zpt)といった化学物質です。

これらは頭部常在菌を殺すために配合されていますが、実は劇薬です。動物実験では嘔吐やマヒ、網膜はく離などを起こすことが確認されています。さらに、魚では奇形になったり、背曲がり病を起こすことも分かっています。

非常に怖い話ですが、ジンクピリチオン配合のシャンプー剤を10倍に薄めて、なかにゼブラフィッシュという淡水魚の卵を入れた実験があります。何と、ふ化したすべての稚魚の背中がらせん状に曲がっていたといえます。

また、最近は抗菌ブームとかで、「抗菌シャンプー」も販売されています。

「抗菌」という健康を連想させる言葉に、つい「安全」を重ねてしまいます。薬局に行きますと、いかにも身体にも良いと自信満々にディスプレイしてありました。

しかし、抗菌シャンプー剤のなかに、トリクロサンの配合されたものもあります。トリクロサンは有機塩素化合物で、川や海などに流れると、発ガン性のあるダイオキシンに変化します。皮膚刺激性もあり、危険性も高くなります。

フケ・かゆみ止めシャンプー剤や抗菌シャンプー剤は、頭皮にいる頭部常在菌を殺します。しかし、頭部常在菌は皮脂を分解して弱酸性の皮脂膜をつくり、いろいろな細菌から身体を守ってくれています。頭部常在菌を殺すようなシャンプー剤は、頭皮の健康にダメージを与えます。こうした薬用シャンプーの使用はやめてほしいと思います。

石鹼だから大丈夫、安心・・・これは過信です

「合成シャンプー剤は怖いから、私は石鹼でシャンプーしている」

こういわれる方もいます。

石鹼は、動物や植物の油脂に水酸化ナトリウム(苛性ソーダ)を加え、煮沸しながらかき混ぜ、食塩を加えて塩析して製造します。ちょっと専門的にいえば、ステアリン酸、パルミチン酸といった脂肪酸のナトリウム塩です。

毒性がなく、自然にもやさしいので安心して使えるものですが、だいたいpH9.7くらいの強アルカリ性を示します。洗髪に使用すると、金属塩を生じて髪がパサついたり、きしんだり、クシやブラシの通りがとでも悪くなってしまいます。頭皮も乾燥し、髪と頭皮に悪い影響を与えます。

もう一つ、石鹼には防腐剤や合成香料の問題もあります。

防腐剤として使われるエデト酸塩には、体内に入るとカルシウム欠乏症を起こすことが知られているうえ、血圧降下や腎機能障害を起こしたりします。奇形を誘発したり、発ガン性の疑いもあります。

また、原料の油脂には臭いがあります。その臭いをカバーするため、ほとんどの石鹼にはクマリンやマスクキシレンといった化学合成香料が使用されています。

皮膚から入ったクマリンは代謝・分解されず、そのままの形で全身を循環します。体内でビタミン K と出会うと、血管が固まる作用を阻止するといえます。クマリンの入った石鹼を使い続けると、血液が固まりにくい状態になってしまうわけです。

マスクキシレンも、石油からつくられる化学物質です。これはジャコウの香りを放出するもので、ご



く一般的に石鹼、香水、ローションに配合されています。マスクキシレンは、動物実験から発ガン性があると証明されているそうです。

「石鹼だから大丈夫、石鹼だから安心」

こう思っていた方はショックかもしれませんが、石鹼だからすべてのものが安全ということにはならないのではないかと思います。

こんな危険なリンスを使い続けますか？

シャンプー剤で洗髪したあと、あなたはリンスを使われるでしょうか？このリンスにも、危険性が指摘されていることをご存知でしょうか？

リンスにも合成界面活性剤が配合されています。配合されている合成界面活性剤は陽イオン系の界面活性剤で、殺菌剤、柔軟仕上げ剤、帯電防止剤としても使用されています。

リンスにも使われている合成界面活性剤は、実は合成シャンプー剤に使われている合成界面活性剤よりも作用が強く、有害です。

①ポリオキシエチレンアルキルエーテル硫酸塩(AES)

②セデス・ベヘネス(ポリオキシエチレンアルキエーテル・AE)

③塩化アルキルトリメチルアンモニウム

これらが、リンスに含まれている合成界面活性剤です。

さらに、リンスには、香料や着色剤として危険な有害化学物質が配合されています。

①プロピレングリコール(保湿剤や乳化剤)

②安息香酸、安息香酸塩など(防腐剤)

③タール系色素など(着色剤)

合成界面活性剤入りのシャンプー剤で洗髪したあと、こうした化学物質の配合されたリンスを使用するとどうでしょう？

もうお分かりでしょうが、必要な皮脂までが取り除かれ、頭皮は無防備の状態になっています。そこに化学物質の入ったリンスを使えば、リンスの危険な化学物質がどんどん身体に侵入してきます。リンスにも、ゆめゆめ油断してはいけません。

第三章 毛染めは危ない！脱毛を早めるだけです

白髪染めをすると、全頭が白髪になる！

年をとれば、多かれ少なかれ誰でも白髪が出る可能性があります。白髪は年寄りくさく見えたり、不潔な感じがしたりするため、生えてくるととても気になります。ほとんどは加齢によるものですが、なぜ白髪になるのでしょうか？

答えをお教えしましょう。年を取ると頭皮のメラニン形成細胞の働きが衰えたり、働かなくなったりします。そのために毛幹内に気泡が入ったような状態になり、鏡のようになって光を反射します。光の反射のために、髪が白く見えるのです。

最近ではストレスやら、その他の要因で、若いうちから白髪が出ている人もいます。若白髪の場合、髪が生え変わるまで白髪はそのままです。ただ適切な頭皮のケアをおこなうことで、ある程度は黒髪にもどすことは可能です。

白髪は嫌と、白髪染めを使う方がいます。

染料には酸化染料がありますが、白髪を黒く染める場合、ほとんど酸化染料を使用します。酸性染料ではすぐに染まらないばかりか、色がすぐに落ちてしまうからです。一方の酸性染料は、ヘアーカラーやヘアマニキュアで使います。

酸化染料で毛を染めるとき、酸化染料はメラニンのメラノプロテインというたんぱく質と結合した色素顆粒を破壊します。このたんぱく質は毛皮質と毛髄質にありますので、当然、毛髪中のケラチンたんぱくを破壊し、髪にダメージを与えます。

このため白髪染めをすると毛質が一変します。最初のしなやかさは失われ、ゴワゴワのガサガサになってしまいます。洗髪のたび、必ずトリートメントをしなければ、クシやブラシの通りが非常に悪くなります。この髪にパーマをかければチリチリの髪になり、決して美しいカールは出ません。

髪が受けるダメージは単なるダメージではなく、回復不可能なダメージです。染毛剤も地肌に塗ったりすると、最悪の場合、白髪染めをすると一挙に全頭が白髪になってしまいます。白髪は嫌だから染めたら、全部白髪になった！こんな悲劇はありません。

頭皮もまた、ダメージを受けます。頭皮は白なまず(尋常性白斑)になる恐れがあるほか、湿疹、かゆみ、アレルギー反応が起きることがあります。

円形脱毛症ができていたりすると、一挙に全頭脱毛症になる危険すらあります。事実、私は、そうした過程で全頭脱毛症になった人も見てきました。白髪染めに使う化学物質が原因の脱毛症は、回復が大変に難しくなります。

白髪染めの第1剤は髪に回復不可能なダメージを

いま白髪染めに使う酸化染料の話をしました。酸化染料は第1剤として使われます。このほかに、第2剤としてほとんど過酸化水素水(オキシドール)を使っています。染める直前に第1剤と第2剤を混ぜ、髪に塗ります。

第1剤の酸化染料は、ジアミン酸系酸化染料が使われます。このジアミン酸系染料ですが、その酸化作用で毛髪中のケラチンを酸化させます。

髪の毛はとても強く、丈夫です。ケラチンは18種類のアミノ酸からつくられています。この丈夫さはシスチンというアミノ酸の結びつきから生まれます。

酸化によってシスチン結合が破壊されたときは、コールドパーマなどの還元切断と違い、決して元にもどりません。要は、酸化のダメージを受けた毛髪は、何をもってしても回復不可能ということです。

各種ジアミン系化合物により、染まる色が違います。

- ①黒色・・・パラフェニレンジアミン「4」
- ②黒紫色・・・パラアミノジフェニルアミン「3」
- ③黒褐色・・・パラトルイレンジアミン「2」
- ④赤色・・・モノニトロフェニレンジアミン「2」
- ⑤黄褐色・・・オルトアミンフェノール「1」
- ⑥赤黄色・・・ユニトロ4アミノフェノール「1」

いま、物質名のあとに「 」の数字がありましたが、ジアミン酸系染料は頭皮に対して毒性があります。この数字が大きいほど毒性が強くなり、発ガン性も指摘されています。

これらの物質は毒性があると分かっているのに、いまだに医学的臨床データはまとめられていません。毒性があるのに使用されていることは、とても怖いことです。

ジアミン酸系酸化染料は確実に、頭皮の正常な細胞分裂を阻害したり、角質化を邪魔したりします。そのために頭皮の異常乾燥を招き、異常脱毛を引き起こします。また、頭部常在菌のバランスを崩し、真菌や白癬菌の異常繁殖を起こすことが考えられます。こうした細菌が異常に増えると、円形脱毛症や多発性脱毛症を引き起こす恐れがあります。

白髪染めの第2剤(オキシドール)は頭皮と角質を破壊する

白髪染めの第1剤だけでも、これだけの危険があります。そこに、第2剤として使う過酸化水素水(オキシドール)の悪い作用が重なってきます。第2剤としてオキシドールを使用する目的は、毛髪中のメラニンを脱色するためです。しかし、脱色だけにとどまりません。メラニンを破壊するとともに、毛髪中のケラチンも破壊してしまうのです。

私たちの頭皮は、角質層に覆われています。頭皮の角質も毛髪と同じケラチンでできていますから、第2剤を使うと頭皮も破壊することになります。

切り傷やすり傷のとき、オキシドールで殺菌します。オキシドールの強い酸化力で殺菌し、身体のかへの細菌の侵入を防ぐためです。

第2剤のオキシドールの濃度をご存知でしょうか？

消毒用オキシドールは濃度が3%ですが、一般ブリーチや染毛の第2剤の濃度は6%！染毛で使う第2剤がいかに強力なものが、これでよく分かります。

また、オキシドールは、保存中に分解したり、揮散したりして効果が減少します。それを防ぐ目的で安定剤を加え、弱酸性にしてあります。

さらに、アルカリ性になると酸化促進が強化されるので、使用するときにはアンモニアを加えます。アンモニアはペーハー(酸性度)をアルカリ側へ弱める作用を持ちますが、薬液を頭髮に浸透させる目的もあります。

脱脂力の強い一般アルカリ性シャンプーや、合成界面活性剤入りのシャンプーを使うと、角質や皮脂膜が取られた無防備な頭皮になります。その無防備な頭皮に染毛剤を使うとさらに毛髪や頭皮が破壊され、いろいろな化学物質が体内に侵入してきます。もはや正常な角質化や皮脂分泌はおこなわれず、異常脱毛の危険が迫っています。

ヘアカラーには「環境ホルモン」が入っている？

染毛剤のダメージはとても深刻なものです。もう少しお話ししましょう。

最近では、自分で染めることができるようになります。びっくりすることに、子供や犬にまでヘアカ

ラーをしていることがあります。

ヘアカラーにも、いろいろな化学物質が使われています。そのなかに、白髪染めの第1剤としても使われているパラフェニレンジアミン(黒の染毛剤)があります。

パラフェニレンジアミンは、強いアレルギー反応を起こします。そのため、プロの美容師でも、カブレを起こして多額の損害賠償金を請求されることがあります。

また、タール系色素と同じく、アナフィラキシーショック症状を引き起こす危険性があります。美容師が急性呼吸不全を起こして救急車を呼ぶ事故が起きていますが、これはアナフィラキシーショック症状を起こしたからです。

アレルギー反応以外に、接触性皮膚炎や粘膜のむくみ、再生不良性貧血、血小板の減少、気管支ぜんそく、結膜炎、鼻炎などを起こすことがあります。現実には、ヘアカラーを使っているときにぜんそくの発作を起こし、亡くなった方もいます。

そのうえ、このパラフェニレンジアミンは「環境ホルモン」であることも疑われています。身体の中に入ると酵素を破壊し、貧血や腎機能障害が起きることも考えられます。長年、このパラフェニレンジアミンによる毛染めをしていると、ガン(悪性リンパ腫)になる恐れもあります。

これ以外にも、ヘアカラーは化学物質が使われています。たとえば、オルトアミノフェノール、レゾルシンといったものです。

オルトアミノフェノールは黄褐色に染める染料で、白髪染めの第1剤としても使われています。皮膚に対して強い刺激があり、アレルギーや発熱、ぜんそくなどを誘発するほか、発ガン性も疑われています。

レゾルシンは防腐剤として使われている医薬品ですが、人によってアレルギーも起こします。皮膚から吸収されるとチアノーゼや昏睡、大変な腎障害を起こします。

さらに、アルキルベンゼンスルホン酸塩が入っているものもあります。これは界面活性剤の一種ですが、皮膚湿疹を起こしたり、奇形を起こしたりする危険性があります。

昔は合成洗剤に大量に入っていました。環境へのダメージが大変に大きいため、洗剤にほとんど使われなくなっています。そんな危険な化学物質がヘアカラーには依然として使われています。本当に怖いことといわなければならないでしょう。

ある日突然、ヘアカラーのアレルギーはやってくる

ヘアカラーは、使用してはいけない方たちがいます。

- ①生理中、妊娠中、または妊娠の可能性のある方
- ②出産後、病中・病後の回復期にある方
- ③腎臓病、血液疾患の既往症のある方
- ④一度でもアレルギー反応が出た方
- ⑤皮膚疾患・眼疾患のある方
- ⑥子供など皮膚組織の弱い方
- ⑦化学物質過敏症の方

こうした方々が、ヘアカラーを使ってはいけない人です。また、パーマやストレートパーマを同時に行ってはいけません。

しかし、こうした使用説明を守っていても、ヘアカラーによるトラブルはなくなりません。ヘアカラーのトラブルは、毎年、全国の消費者センターに寄せられる被害報告のベストテンから落ちたことではないのです。

ヘアカラーでのトラブルは、やはりアレルギーです。

「ヘアカラーを使ったけど、アレルギーは出なかった。私は大丈夫」

もし、こう思われているとすれば、大変な誤解です。

アレルギー反応は、どんなときに起こるのでしょうか？

「アレルギーを起こす特定の物質に、初めて接したときでしょう」

これが大変な誤解なのです。アレルギーは、特定の物質に初めて接したときに起こるものなのではありません。

ある物質に何度も接しているうちに、身体の中にもその物質とアレルギー反応を起こす物質がつくられていきます。その物質が臨界点に達したとき、身体が拒否(拒絶)反応を起こします。それがアレルギー反応なのです。

実際、ヘアカラーのアレルギーは、回数にして4~7回目くらいが多いといわれています。ただし個人差があり、短い人は2ヵ月で発症した人もいれば、20年使い続けて何もなかったのに、21年目にアレルギーを起こしたというケースもあるそうです。

「一度やってみたけど、何の異常も出なかった」

「使い続けているけどアレルギーはない。私は大丈夫」

こう思って安心してヘアカラーを使っていると、突然、アレルギー反応を起こすことがあることを覚悟していなければならないのです。

手軽なヘアマニキュアにも安心できない

毛染めの方法の一つに、ヘアマニキュアもあります。

白髪染めやヘアカラーより手軽ということもあってか、かなりの方が使用しています。スプレータイプやクシで塗るもののほか、色もブラウン、オレンジ、ブルーなどがあります。これも人気の一つの要素でしょう。

ヘアカラーは毛髪中のメラニン色素は脱色し、そこに酸性染料を送り込んで毛を染めます。原理は、白髪染めと同じです。

一方、ヘアマニキュアは、毛髪中のメラニン色素は脱色しません。毛髪の表面にある毛表皮(キューティクル)に酸性染料を付着させ、毛を染めます。着色効果は高いのですが、すぐに色が抜けてしまいます。長く持って3週間程度が限界といわれています。

「ヘアマニキュアは髪を傷めない」

こう思われている方も多いでしょうが、毒性がないかということ、それほど安全なものではありません。

ヘアマニキュアに使われている染色剤のなかには、あのタール系の色素もあります。詳しくは繰り返しません。タール系色素は毒性が非常に強く、皮膚障害を起こします。体内に浸透すると、アレルギー反応を起こしたり、黒皮病の原因になったりします。さらに、タール系色素は発ガン性が疑われている物質でもあります。

ヘアマニキュアにも、合成界面活性剤が入っています。

合成界面活性剤についても、ここでは繰り返しません。シャンプー剤のところを読まれていれば、その怖さはよく分かっていただけたと思います。

黒く染まる植物性の染毛剤には、タール系色素が

「化学染料の白髪染めは髪が傷むし、カブレが怖いから、私は植物性の染毛剤を使っている」

こういわれる方もおられます。使っておられるのは、おそらくヘナでしょう。

しかし、ヘナの染毛剤では白髪を黒くすることは困難です。ヘナは、赤色か黄ダイダイ色しか出ないものだからです。

「でも、私の使っているヘナは黒くなります」

こういわれるかもしれませんが、ヘナを使って黒くする染毛剤には、「植物性」を表面に押し出しながらタール系色素が入っている恐れがあります。

カラーリンスやシャンプー式の白髪染めには、洗うたびに黒くなっていく製品もあります。こうした製品にも、やはりタール系色素が使用されていることが考えられます。

最近はいろいろな植物から色素を抽出して盛んに植物染料を開発しているようですが、染めても、なかなか思うように色が出せないのが現状です。

その理由は、毛髪中のメラニンです。日本人の黒髪の元は、毛髪中のメラニンが黒色だからです。そのため、黄色系や赤系の色がうまく出せないのです。

たとえば植物染料を使って染めようとしても、毛髪中にその色を発色するためには、染毛剤を浸透させる必要があります。そのために、アルコールや合成界面活性剤を使用しなければならないでしょう。また、オキシドールが使われていないかどうか、調べてみる必要もあると思います。

毛髪と頭皮(身体)にやさしく、環境にも負荷を与えない染毛剤は難しいということです。染毛剤は、とても危険な化学物質と考えましょう。

第4章 間違った発毛法でハゲないためにも

テレビCM=効果の保証という方程式は成り立たない

新聞に、発毛・育毛サロンのチラシが入っていたりします。街で配られているティッシュも、実は発毛・育毛サロンの宣伝だったりします。

発毛・育毛サロンは、現在は新聞紙上での宣伝はいつさいできません。宣伝はもっぱらチラシや雑誌、フリーペーパーを使っています。

なぜ、新聞で宣伝できないのでしょうか？発毛・育毛サロンは、社会的に認められないということなのでしょう。

実は、新聞で宣伝するためには、信用資格審査に受からなければなりません。新聞に発毛・育毛の宣

伝が出ないということは、その信用資格審査に受からないからなのです。サロンが売りにしている発毛の科学的データが証明されていないからです。

そこで、規制の比較的ゆるい雑誌やチラシ、フリーペーパーでの宣伝になるわけです。

本来、テレビでも、発毛・育毛サロンの CM はできません。しかし、毎日、さもすぐに絶対生えてくるといわんばかりに、発毛の CM がテレビで流されています。

「自分のところにきて手当を受ければ絶対に脱毛症は治せる、発毛する」

「体質改善すれば必ず生えてきます」

「初めての方は、発毛実感コースがあります」

なかに、発毛専門で、大々的にテレビ CM を流している会社に A があります。テレビで発毛・育毛の CM が打てるのでしょうか？

「誇大広告と医師法、薬事法に触れるのではないか」

A 社について、以前から、多くの毛髪業関係者や新聞関係者はこういっていました。A 社はなぜテレビ CM で流されるのか、良識ある関係者はみな首を傾けます。

ただし、「そこで発毛といっている技術を受けたらかえって悪化し、髪の毛が 1 本もなくなってしまった」といったように、私の元に寄せられる多くの実態はかなり問題です。

テレビ宣伝費は誰が払っているのでしょうか？

テレビ CM は決して宣伝費用は安くはありません。時間帯やその番組にもよりますが、全国放送でのテレビ CM 料金は、30 秒で最低 600 万円～800 万円かかるといわれています。

テレビ CM を見て、「そこにいけば必ず髪は生えてくる」と、さぞかし多くの方が訪れ、何百万円という高額な契約をしているのでしょうか。でなければ、ひょっとして月に億単位になるかもしれない宣伝費は払えないはずで

す。発毛サロンや育毛サロンのほとんどは、その利用料金を開示していません。

先日、ブログをたまたま見ていると、発毛専門 A 社の「発毛実感コース」をしてきたという女性のブログと出会いました。その女性は、何と 2 年間で 750 万円かかったといいます。匿名ですからそれが事実かどうかは定かではありませんが、あまりの金額に本当にびっくりしました。

以前、週刊誌に、ジャーナリストが数社を回って調べた利用料金が載っていました。だいたい 3 ヶ月、または 12 回で 60 万円くらいだったと記憶していますが、その技術内容や育毛用品、利用方法がハッキリしていませんでした。

利用料金を開示していないところは、たとえ無料体験コースといえども、安易に行くことは非常に危険です。そのコースを足がかりに、契約を迫ってくる恐れがあります。

「無理やり契約を迫ってきても、自分は絶対に断る自信がある」

こう思っている、相手はその道のプロです。きっと契約させられて、長期のローンを組むハメになってしまいます。

テレビ CM が多く流されていると、「きっと良いに違いない」と信じてしまいがちです。本当に効果があるかはよく調べる必要があります。

テレビで宣伝しているから安心ということは決してありません。その高い宣伝費を負担し、支払うのは、他ならぬ利用者自身なのです。

理論の裏づけのない発毛・育毛宣伝があふれている

育毛や発毛サロンの宣伝に、「おやっ？」と思う理論的にずいぶんおかしい表情が堂々と使われています。

発毛・育毛専門クリニックの B 社では、「発毛率 100%」といっています。

常識的に考えても、発毛率 100%ということはありえません。医療の世界でも施術の成功に 100%完璧を求める気持ちで臨みますが、100%成功はないのです。

また、同社では、もう一つおかしいことをいっています。

「可視光線を照射、頭皮を殺菌し、血行を促す」

これは、理論的にまったくメチャクチャな話です。

可視光線は、電磁波のうちで光として人間の目に見えるもののことです。その可視光線に殺菌作用はまったくありません。殺菌作用があるのは紫外線で、紫外線は目にみえない光線(不可視光線)です。こんな基本的なことさえ、B 社は分かっていないのです。

そして、テレビなどで体質改善をして発毛させると豪語している A 社ですが、「体質改善」の理論がまったく見えません。テレビでは時間がなくて説明できないのでしょうか？発毛率 96.8%を誇るというのですから、ぜひ詳しく知りたいものです。

同社はまた、低周波や高周波を使った発毛・育毛装置を開発・特許を取得したと宣伝しています。医

療器具でもないものを発毛効果があると表現することは、問題があるのではないのでしょうか？

現実に、多くの方が脱毛で苦しんでいます。一刻も早く、利用者本人が正しい理論を知る事が大切です。多額のお金を訳の分からないところに使ってしまうないようにしてください。その上、毛根(毛乳頭)を未熟な技術やデタラメな技法で破壊してしまえば、もはや取り返しは二度とできません。

特許＝発毛を証明する「お墨つき」と思っはいけない

いま、A社の特許の話をしました。

「当社では、特許を取った機器を使っています」

「わが社では、特許を取った育毛剤を使っています」

発毛・育毛サロンなどでは、こんな言葉で利用者を集めているようです。こんな言葉につられ、そのサロンで手当を受けている方も多いのではないかと思います。

発毛・育毛にかぎらず、私たちは「特許」という言葉に弱いところがあります。「特許を取りました」と聞くと、効果があると信用してしまいがちです。

そもそも、特許とは何なのでしょう？

特許とは「アイデアに新規性がある」ということが第一条件で、そのアイデアの内容の効果効能を保証するものではありません。

広辞苑には、こう説明されています。

①特定の人のために新たに特定の権利を設定する行政行為

②ある人の考案に成る工業的発明の独占的・排他的な利用を、その人または承継者に与える行政行為

この「行政行為」をおこなう役所が特許庁です。

「役所がおこなうことだから、きっと効果や効能まで調べるだろう」

これは違います。特許庁は、特許申請の内容が真実なのか、その申請どおりの効果や効能が出るかまでは調べません。審査するポイントは、「アイデアの新規性」です。

ですから、「特許」という言葉や、「特許を取った機器」ということだけですべてのことを信用してはいけないこととなります。要は、発毛・育毛の手当をおこない、結果が出なければ、その理論や技術はダメということなのです。

特許は発毛や育毛の「お墨つき」ではない、と知りましょう。

低周波で発毛する？そんな科学的な根拠はない

発毛サロンのなかには、低周波や高周波を使うと宣伝しているところがあります。「低周波や高周波といわれても、普段の生活には縁がないから分からない」

ほとんどの方はこう思われるでしょう。しかし、「低周波や高周波を使う発毛」と聞くと、何か効果がありそうな感じがしてしまうものです。

ちょっと低周波を説明しますと、低周波は周波数の小さい電波や交流をいいますが、範囲は明確ではありません。私たちの耳で聞こえるものをいいます。これを実用化したものに、ソナー(海洋音響トモグラフィシステム)があります。

発毛専門というA社がおこなっている発毛実感コースでは、低周波と高周波を使った発毛・育毛装置を用いています。他にもC社、発毛専門サロンを全国展開しているD社などが低周波を使っています。

いずれも自社オリジナルの特殊技術だと宣伝していますが、他社でも同じ内容でおこなっているのは、とうていオリジナル技術とはいえません。

私は、長年にわたって発毛・育毛を研究してきましたが、低周波が毛髪の育成に関係しているとは聞いたことがありません。低周波が発毛や育毛に関係しているかどうかの事実もいろいろ調べてみましたが、残念ながら見当りませんでした。

C社では、「低周波発毛機」を使うといっていますが、低周波が発毛に良い影響を与えるとの証明はされていないのです。また、この機器を使い、育毛剤を頭皮の奥深くまで浸透されるといっています。

「育毛剤をかけるだけでは、皮膚のバリアゾーンによって思った効果が期待ではない」

これがその理由だそうです。しかし、低周波が皮膚のバリアゾーンの働きをなくすことはありません。

発毛機とはまた、すごい表現をするものです。全世界をながめても、発毛機などというものはいまだ存在しません。

もしこれが真実ならば、この発毛機は医療機器となり、医師法の及ぶ範疇となります。医師免許を持った医師でなければ、使用することはできないのです。

さらに、育毛剤の全成分が頭皮中に入るとすれば、育毛剤の成分には、少なくとも何がしかの防腐剤や安定剤が入っているはずで、こうしたものは、皮膚の正常な働きを阻害するものです。「発毛サロンでハゲてしまった」といったことにならないよう、願わずにいられません。

高周波も根拠がないばかりか、かえってハゲる不安が

低周波のほかに、高周波を使うところもあります。

よく登場 A 社では、低周波と高周波を使っています。E 社でもオリジナルの「育毛機」と称し、低周波と高周波を出す機器を使っています。

高周波は低周波の逆で、周波数が比較的大きいことです。普通は 3~30 メガヘルツの周波数をいうほか、人間の耳に聞こえない周波数以上の電波をいいます。また、商用電波数(50・60 ヘルツ)以上をいう場合もあります。

高周波の特性に、高周波加熱があります。

高周波加熱は、高周波の電磁場内に置かれた物体が発熱する現象を利用した加熱方式です。その代表が、おなじみの電子レンジです。

誘導加熱は、木材やプラスチックのような絶縁物を加熱する方法です。塩化ビニールなどの溶融接着をおこなう高周波ウェルダーという機械、シート状のものを連続的に接着する高周波ミシンなどがこの加熱方式を使っています。

こうしたことから、高周波を育毛や発毛に使う理論的根拠が見えてくるのでしょうか？

低周波と同じように、高周波が発毛に寄与してくれるという話を読んだことも、聞いたこともありません。

「高周波でマッサージします」

E 社ではこういった、頭皮にクシ状の金具で高周波を当てています。男性ホルモンが原因の抜け毛に良いのだそうです。しかし、高周波にマッサージをする作用はありません。それどころか、高周波は、髪をつくる組織(毛乳頭)に、大きなダメージを与える恐れのあることが推測されるのです。

出力を小さくしても、毛髪が発毛には何ら寄与せず、その出力次第では皮下組織を焼いてしまったり、もっと深い組織に炎症を起こすことが考えられます。何と云っても、高周波を使う機器は電子レンジなのですから...

こうした機器を使うサロンで、利用した多くの方たちが改善している確証はありません。データをいっさい公表していないのです。

オゾン化イオン水のスチーミングは異常脱毛を引き起こす

低周波や高周波を使う発毛には、危険があることが分かっていただけだと思います。

いくらそこが絶対に生えるといっても、施術内容によるデータの公表はありません。ましてや低周波、高周波による発毛技術は、厚生労働省などの公的機関による許可もありません。何らかの被害が出たうえで、調査が入るでしょう。

こうした会社やサロンでの手当には、それ以外の危険もあります。

「毛穴のしつこい汚れは、オゾン化イオン水の蒸気で頭皮を蒸らすことにより、毛穴を広げて取り除きます」

A 社や E 社は、雑誌などでよくこう宣伝しています。

しかし、本当にこの方法で汚れが取れるのでしょうか？

確かに、蒸気で蒸せば頭皮の毛穴は開くでしょうが、汚れを取ることはできません。なぜなら、毛髪で問題になる汚れは、毛母細胞のある真皮あたりにあるからです。

スチームで毛穴が広がっても、それは頭皮表面だけの話です。どれほど頭皮表面を温めても、育毛で大切な毛母細胞のある真皮あたりは開きません。

毛穴をいくら開いても、そこに汚れはないのです。こんなことは毛髪学の基礎中の基礎ですが A 社や E 社はその基礎がないこととなります。

洗髪が十分でないと、髪の毛の根元に皮脂が残ったままになります。それを汚れと呼ぶなら、たいした問題ではありません。スチーミングなどする必要はまったくありません。

爪を立てないように指の腹で髪の毛の汚れと反対方向に、髪を起こすように二度洗いを丁寧におこなえば、洗い残しの皮脂はなくなります。逆に、スチーマーで頭部を温めると皮脂分泌が活発になり、脂漏性脱毛の危険が考えられます。

オゾン化スチーミングの元々の目的は、パーマをかけるときのパーマ剤の酸化を早めることです。その目的のために、強い酸化力を持つオゾンを使うのです。

その強い酸化力から、オゾンは、病院などで手術前に手指の消毒に使ったり、最近では水道水の殺菌用に使用しています。

この強い酸化力のスチーミングは、皮脂の酸化をします。皮脂は過酸化脂質となって固くなり、正常な皮脂分泌がおこなわれなくなります。その結果、頭皮が乾燥したり、潤いがなくなったりし、異常脱毛を引き起こす恐れがあります。

信用できない業者にはくれぐれも注意し、泣き寝入りは止めましょう

「発毛専門？」

「発毛保証！生えなければ全額返金」

こんな自信満々の誇大広告がまかり通っています。

そこでおこなわれているものが発毛技術(?)なのか、発毛行為(?)なのか知りませんが、こんな広告を見たり聞いたりすれば、実態を知らない人は、絶対に髪が生えてくると信じています。

最近の発毛・育毛専門の毛髪業者の広告の内容が変わってきたように思います。以前のように、そこで行なわれている技術内容を表示しなくなりました。

技術内容が表示されない広告では、内容が把握できなくなってきました。そうなると、発毛・育毛の希望者は、電話での感触か、直接そこに出かけるしか方法はなくなります。

直接訪問したとしても、すぐに技術を受けず、まずよく調べるようにしましょう。

さらに、すぐに1年とか2年の長期の技術期間の契約は結ばないようにしましょう。3~4ヶ月の12回コース(毎週1回の技術は最低でも行う必要があります)、または6ヶ月コースにしましょう。そして状況を見て追加で技術期間を延長しましょう。長期間契約を迫るときは、すぐに退散しましょう。状況により、月1回のケアやそのつどの支払いができるところが良いと思います。

利用者の無知や発毛・育毛を願う気持ちにつけこむ業者があとを絶ちません。信頼できない業者には、くれぐれも気をつけることです。

信頼できる業者や会社、担当者を見分けるためには、まず自分自身が毛髪の正しい知識を持つことが重要です。担当者が若すぎたり、知識不足や経験不足、そのうえ契約を強引に迫ったり、利用者を考える余裕を与えないところはダメです。

もし、自分の望んだ発毛・育毛の結果が出なければ、泣き寝入りせず、支払ったお金の返還請求をしましょう。それでもラチが明らかなければ、弁護士や消費者センターに相談したり、必要があれば公的機関や裁判所に訴え出るようにしましょう。訴えられて本当に困るのはその業者なのです。きっと、すぐに返金に応じると思います。

毛髪業界がつくった契約トラブルの受付機関へ苦情を申し出ても、真の解決にはなりません。苦情が余りにも多く、消費者センターでの業務処理が多忙を極めたので、経済産業省が、その苦情の受け皿を毛髪関係会社につくらせたのですが、そのため、以前よりも苦情の実態が表面化しなくなりました。毛髪業界の正常化(清浄化)ができなくなる事態となりました。そうしている間に悪化してしまい、回復の機会が遠のいていきます。

発毛・育毛の毛髪業の法制化が早急に必要だと思います。

第五章 合成ホルモン剤「飲む育毛剤」で、男性型脱毛症は治らない？

どこへ行ってもダメだった男性型脱毛が治った！

信頼できない発毛業者には十分に注意していただくとして、男性型脱毛症(AGA)は、大変に回復が難しい脱毛症です。

男性型脱毛症は、30歳を超えた男性に多く見られる脱毛症です。いろいろな育毛剤や絶対生えるといわれる医薬品を使っても、ほとんどの男性が回復を見ることはありませんでした。

「遺伝だからどうにもできない」

多くの男性はあきらめていたものです。そのためか、「男性型脱毛で毛が生えたらノーベル賞ものだ」といわれてもきました。しかし、あきらめることはありません。

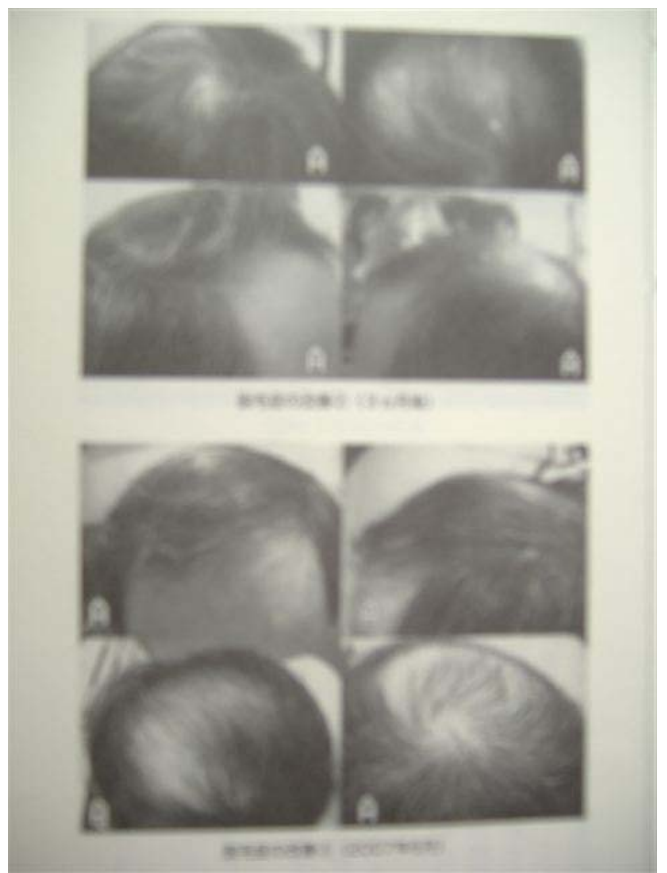
2005年の11月から、東京のワールドサイエンスにこられた43歳の男性がいます。この方は典型的な男性型脱毛症で、最初見えたとき、天頂部の毛髪はほとんどなくなっていました。

どこへ行っても改善されなかった脱毛症でしたが、月1回のケアで、この方の脱毛症は次のように改善されました。

①初回・・・天頂部には毛がほとんどありませんでした。

(脱毛症の改善①初回写真)

②3ヶ月後・・・赤みがあった頭皮が薄いピンク色



になるとともに、毛髪が生えてきました。

(脱毛症の改善② 3ヶ月後写真)

③2007年6月・・・テカっていた状態は完全に太い毛髪が生えてくるようになりました。

(脱毛症の改善③ 2007年6月)

男性型脱毛の回復で良い結果を出すためには、自宅での毎日のお手入れと食生活や嗜好品類、体内リズム(自律神経)の問題解決が必要ですし、正しい育毛理論にもとづくアドバイスの実践とワールドサイエンスの育毛技術が必要です。

この方は私の理論を信じて実践してくださり、良い方向に進んできました。同時に、私が開発した育毛用ソフトレーザー(ゲルマニウム・ソフトレーザー)を使い毎日、手入れをされました。

若ハゲと呼ばれる男性型脱毛症の改善は、そうした生活全般の見直しと育毛用ソフトレーザーによる手入れ頭皮や体内の化学物質などを体外除去するヘッドデドックスおよび体内デドックスを行い、ご本人の育毛実践の努力が実った結果と考えています。

これまで、男性型脱毛症は遺伝だから治さないとされ回復しなかったことが多かったものです。

この方の例から、「絶対にダメ」とあきらめなくてもよいことが分かっていただけではないでしょうか。

医療行為だからといって、100%発毛する保証はない

私は35年にわたって脱毛症と発毛・育毛の研究をしてきましたが、いまもって誰にでも100%効果が出る発毛剤はないと思っています。

食事が偏っていたり、たんぱく質がきちんと取れていなかったり、体内リズムが狂っていて十分な睡眠が得られていなかったりすると、毛髪に影響が出ます。高脂血症や糖尿病、心臓病、内臓関係をわずらっていた場合は、頭髪にもその影響が出てきます。その他、ストレス、シャンプー剤、頭髪化粧品の影響、喫煙、アルコールなど、脱毛症にはここでは書ききれないほどたくさん原因や要因があります。

毛生え薬というと、実は私もまだ信じていません。塗布するだけで誰にでもすぐ毛が生えてくることなど、考えられません。産毛が一時的に生えることはあっても、そこまで終わるようです。

脱毛症の原因がおのおの違うのに、「これが発毛剤です」ということは、対処があまりにも短絡的ではないでしょうか？

「男性型脱毛症の治療は医療機関でできるようになりました」

2007年になって、こんなCMが目につくようになりました。CMでは、頭の薄い男性がズラッと並んで順番を待っています。そうした本も出版されています。

「医療機関でも男性型脱毛症への対策を始めたか。少しは進歩したのかな」

こう思いましたが、CMをよく見ますと、医療機関がみずから宣伝しているわけではありません。宣伝のスポンサーは、その医療機関で使用する薬品を納入している製薬会社だったのです。

もちろん、いまの法律では、医療機関が宣伝活動をおこなうには制約があります。そうした事情もあるでしょうが、製薬会社が自社の薬品を売るために宣伝をしているわけです。

宣伝スポンサーはさておき、医療行為だからといって100%発毛するのでしょうか？

もしそうならば大変にうれしいニュースですが、誰にでも効果が出るのでしょうか？

もし発毛したとしても、治療薬と呼んでいるフィナステリドやミノキシジルの副作用はないのでしょうか？

フィナステリドやミノキシジルは、医薬品の許可を取っています。医薬品だから絶対に良いという医師がいる一方、この使用に関しての副作用を訴えている医師もいます。つまり、評価が分かれているのが現状なのです。

飲む育毛剤・フィナステリドは、本当に男性を救うか？

ここから、フィナステリドについて少しお話ししましょう。フィナステリドは、「飲む育毛剤」として医療機関での脱毛症治療に使われています。

フィナステリドは薬品の成分名で、そもそも前立腺肥大症の治療薬として研究されていたものです。前立腺は男性だけにある組織で、膀胱から尿道が出たすぐの部分を取り巻いています。

若いとき、前立腺は栗の実ほどの大きさですが、年齢とともに肥大します。それが前立腺肥大症です。程度の差こそありますが、55歳以上の男性の5人に1人は、この前立腺肥大症が起きています。

前立腺が大きくなるだけなら問題ありませんが、大きくなった前立腺は尿道を締めつけます。そのため、たいてい排尿が困難になります。

これが続くと、やがておしっこを出し切れなくなり、膀胱にいつも尿が残る残尿という状態になります。すると、今度はいつも尿が近いような不快な状態になり、夜中に何度もトイレのために起きるといったこととなります。

フィナステリドは医薬品として許可されていますが、90%の男性で抜け毛が止まったといわれている反面、まったく効果の出なかった人もいます。

歴史の浅い医薬品で、発毛データもいまいちハッキリしていません。1年2年と毎日気長に飲み続けなければならぬというえ、飲んだ人の評価はあまり高くないようです。

最初は一時的に抜け毛が増え、それ以降も飲み続けると、また生えてくるというもの、以前と比べ、劇的に増えたといった報告や感想はまだ見当たらないようです。

「男性型脱毛症は医者で治療する時代になった」

こんな宣伝が目につきますが、フィナステリドを飲んでる人はあまりいないようです。

作用は、男性型脱毛の進行を遅らせることにある

男性型脱毛症に、フィナステリドはどう作用すると考えられているのでしょうか？

プロペシアは医薬品なので、必ず医師のもとでアンドロゲンレセプターの検査を受けなければなりません。この検査は、ジヒドロテストステロンやテストステロンの受容体の影響を受けやすいかを調べるものです。

この検査からも分かるように、プロペシアのカギは、ジヒドロテストステロンという体内物質です。ジヒドロテストステロンは、男性ホルモンのテストステロンが5 α -リアクターゼという還元酵素の働きでできる物質です。

テストステロンは、主に睪丸(精巣)でつくられています。男性が男性であるための大変に重要な性ホルモンで、男性の心身にとってはなくてはならないものです。

しかし、テストステロンに5 α -リアクターゼが働くと、ジヒドロテストステロンに変わります。そうになると毛乳頭が萎縮し、毛母細胞の働きが抑えられます。そのために毛髪が太く成長しなくなり、細く短い髪しか生えてこなくなります。その結果、薄毛になっていくといわれているのです。

5 α -リアクターゼには、I型とII型の2つのタイプがあるといわれています。

I型は全身の皮脂腺に広く分布するのに対し、II型は前頭部、全頂部の毛乳頭細胞、毛母細胞と前立腺にだけ存在することが分かっています。ここから分かる事は前頭部、頭頂部が薄くなるのは、II型の働きが強くなった場合です。

フィナステリドは、このII型のみをブロックします。そこからジヒドロテストステロンの増加を防ぎ、男性型脱毛症による薄毛、脱毛の進行を食い止めようと考えられたものだそうです。

こうした理論や使用者の意見を聞きますと、フィナステリドは積極的に育毛や発毛を促すものではないことがハッキリしてきました。

ジヒドロテストステロンが増えないようにしたからといって、毛髪が生えてくるわけではありません。毛が生えてくるのではなく、男性型脱毛の進行を遅らせるということなのです。「飲む育毛剤」という表現は、フィナステリドには適していないわけです。

男性機能を低下させる副作用を知っていますか？

20代の男性の6%が、男性型脱毛症との報告があるようです。男性ホルモンの分泌量と感受性は、遺伝によって決まっているともいわれているようです。

男性型脱毛症になる主な要因として、男性ホルモン以外に、遺伝や食生活、生活習慣、嗜好品類、ストレスなども考えられます。ただ男性ホルモンの分泌が多いというだけでは、男性型脱毛症にはなりません。

フィナステリドが効くのは、その作用メカニズムから、男性ホルモン(テストステロン)に強く関係する男性型脱毛だけになります。加齢による薄毛や、他の原因による脱毛症にはまったく効果はありません。脂漏性脱毛症、ひこう性脱毛症、ストレスや神経性円形脱毛症にもまったく効果はないのです。

さらに、フィナステリドには、副作用も報告されています。

男性ホルモンは、男性にとって活力や行動力、体力や筋力をつくるとても大切なものです。この男性ホルモンの働きを薬物によって抑えてしまいますと、そこから男性機能に副作用が生じてきます。

副作用として、精液減少、性機能障害、勃起不全(インポテンツ)、性欲減退、頻尿、下痢などの副作用が報告されています。フィナステリドを飲んだほとんどの人は、性機能不全や精液減少、勃起不全などを感じたようです。また、フィナステリドを服用中の性行為は、赤ちゃんに悪影響を及ぼす恐れがあります。

副作用で性機能障害を起こしかねない医薬品は、果たして正しい医薬品といえるのでしょうか？

医薬品は化学物質です。化学物質は何らかの副作用は避けられないものといわれます。もっといえば、副作用が医薬品の効果ともいわれます。

といっても、生殖機能に異常を引き起こす恐れのあるものが、若い男性に使用されるなど、絶対にあってはならないことだと強く思います。副作用についてはくれぐれも慎重になりましょう。

また、男性ホルモンに関係することで、女性の脱毛にはいっさい効果はありません。

それどころか、子供や妊婦は、フィナステリドに触れてはいけません。合成ホルモン剤は性ホルモンのバランスを崩し、生殖機能に異常を引き起こすものだからです。

さあ、フィナステリドを飲みますか、それとも・・・

「フィナステリドは大変に危険な薬なのでは？」

フィナステリドをいろいろ調べた結果、これが私の理論です。

フィナステリドは、性ホルモンのバランスを崩したり、人間の生殖機能や性器異常を引き起こす恐れがあります。そうしたことから、ある意味では生態機能を破壊する環境ホルモンとも思えます。

服用してから6ヶ月ぐらいで抜け毛が止まるといっていますが、その後もずっと服用を続けなければなりません。服用を中止すると、また抜け始めます。その間、いつも男性機能に狂いが出ないかと、副作用の影におびえ続けなければなりません。

治療の浅いこうした合成ホルモン剤は、使用による異常が発覚するまで長い年月がかかるものです。こうしたものに、私は大変な恐ろしさを感じています。

「髪が薄くなってきた・・・」

「抜け毛が多いので、ハゲてしまわないか・・・」

心配になっても、すぐにフィナステリドを飲む事はやめましょう。

しかし、ここで私がいくらいったところで、「厚生労働省が許可した薬だし、医師が処方や治療をするのだから心配はないだろう」といわれてしまえばそれまでです。

そもそも医薬品の開発は、製薬会社という利益を追求する営利企業がおこなうもので、国営企業ではありません。ましてや、ほとんどの医薬品の特許はアメリカが握っています。

「医薬品は営利企業ではどこかに利益追求ゆえの弊害が出る危険性がある」

私はこう思っています。日本は、このところが分かっていません。ですからいまも、日本では医療の問題が社会問題化し、いっこうに改善されないのです。この管理監督が正しく行われていれば問題はないのですが・・・。

誰にでも効果があり、しかも副作用のない夢のような発毛剤はありません。育毛に対する私の特論し、「絶対に副作用があるものであってはならない」です。副作用を伴うこうした育毛法は、危険な育毛法と考えます。

第六章 女性のみなさん、髪をピンチから守りましょう

発毛・育毛サロンは回復実績が出せていない

最近、男性に限らず、女性の脱毛症も増えています。

とくに40代から50代以上の方に、薄毛や天頂部が透けて見えてしまっていたり、全体的に髪がなくなっていたり、長く伸びてこなくなっていたりします。服装やお化粧品で美しく装えば装うほどそのギャップが目立ち、気になっている方も多いでしょう。

いまさらながら、女性の美に髪はなくてはならないものだと痛感します。

40代から50代以上の女性の育毛や発毛は、確かな回復の実績を出すことがなかなか難しいものです。最近、いろいろな育毛サロンや発毛サロンが出てきましたが、女性の脱毛の回復実績はほとんど出せていないようです。

その理由ですが、女性の身体の大変に複雑なメカニズムによるものと考えています。ですから「あなたはこれだけが原因です」と一概にいえませんし、手当法やアドバイスも一つの方法では対処できません。

ん。毛髪業者や毛髪専門を称する医師も含めて、女性の多岐にわたる原因と要因をまだ深く理解していないように感じます。

ただこれまでの多くの相談側から、女性の脱毛には共通の問題点があるように思われます。それは、食生活や嗜好品の問題です。

毛髪環境には、食生活、嗜好品、生活リズムなどがあります。戦後60年経ったなかで、毛髪を取り巻くこうした環境が大きく変化しましたが、良いほうへいったのであれば問題はなかったのですが、悪いほうへ傾いています。

食生活を見ても、50代以下の人は、和食より欧米型の食事が多くなっています。

肉が中心の洋食は、そもそも高カロリー、高脂肪食です。また、これでもかというほど、やたらとオリーブ油などの油脂類を使って料理します。牛乳、ヨーグルト、バター、チーズなど、乳製品が多くなったのも大きな特徴です。

高カロリー、高脂肪食の食生活は肥満の女性は頭髪全体が薄くなったり、女性でも男性型の脱毛になります。さらに、そうした食生活は「家族性高脂血症」を引き起こし、子供にも薄毛や脱毛を招きます。

子供の薄毛や脱毛の原因の一つは、お母さんのつくる高カロリー・高脂肪食です。ですから、子供の薄毛や脱毛は30代から50代のお母さんに原因がある、ということにもなってくるのです。



嗜好品では、アルコールに注意しましょう

「高カロリー・高脂肪食とともに、脱毛には嗜好品が関係しています」

こうすると、意外に思われるかもしれませんが。

お酒、喫煙、おやつなどの嗜好品は、かなりの比重で危険な脱毛原因になります。こうした嗜好品がなぜ髪に悪いのか、順番に見ていきましょう。

まず、アルコールです。最近では女性の社会進出もあり、男性と一緒にお酒を飲む機会が多くなっています。女性ばかりでも、飲食の席でアルコールが出ます。

女性がとくにアルコールに気をつけなければいけない理由があります。それは、アセトアルデヒドです。

アルコールは肝臓で酵素によって分解され、アセトアルデヒドができます。アセトアルデヒドは、アセトアルデヒド脱水酵素で酸化されて無毒な酢酸に変えられ、最後には二酸化炭素と水になります。

しかし、日本人にはアセトアルデヒドを分解する酵素を持たない人が多く、50%が二日酔いになるといわれています。しかも、女性ホルモンがこのアセトアルデヒドの分解を邪魔します。ですから、実質的に、女性はアセトアルデヒドを分解する酵素を持たない人と一緒ということになります。

アセトアルデヒドが分解されないと、二日酔いになります。二日酔いになると、交感神経が優位になって顆粒球は組織に押しかけ、活性酸素で粘膜などを破壊するとされています。

頭皮でも同じことが起こり、増えた顆粒球が頭皮の組織に押しかけます。そこで組織障害が起きるうえ、顆粒球の活性酸素で毛根や毛母細胞が攻撃されることが十分に考えられます。髪の毛を支える力が弱くなり、異常脱毛を引き起こす原因になることもあります。

テレビの影響などもあってか、ワインを飲む人も増えているようです。しかし、ほとんどのワインには、酸化防止剤や防腐剤として亜硫酸塩やソルビン酸が入っています。ワインだけでなく、ほかのお酒類にも防腐剤が入っていることもあります。

少量しか飲まないのであれば心配はないのかもしれませんが、亜硫酸塩はアレルギーの原因になったり、脳にダメージを与えます。イライラや不眠症などの原因になる恐れもあり、不眠症からの原因ともなります。

一方のソルビン酸にも危険があります。濃度が高いと、発ガンの危険性もあるといわれているのです。

おやつを食べるなら、和菓子がお勧め

女性の好きな嗜好品といえば、甘いものです。とくにケーキやチョコレートなどが好きな人が多いようで、最近では和菓子を食べる方を見かけなくなりました。ケーキと和菓子の両方とも、砂糖がしっかり使われています。ただし、和菓子のほうが使われている砂糖は少なく、高カロリーとなる脂肪分もほとんどの和菓子では使用しません。

砂糖を取りすぎると、身体が酸性になります。人間の身体は弱アルカリ性が理想です。砂糖を取りす

ざると、髪の毛が軟毛になるという悪影響の出る恐れがあります。

また、ケーキには、硬化油や人工植物油のショートニングが使われています。

これは血液をドロドロにし、血流を悪くしたり、血管を詰まらせたりします。血流が悪くなったり、血管が詰まると、毛母細胞に十分な酸素や栄養が届けられなくなります。その結果、コシのないフワフワの毛質になったり、薄毛の原因になったりもします。

和菓子のほうがカロリーも低く、硬化油やショートニングが使われていません。薄毛になるリスクが減らせます。

チョコレートにも疑問があります。

チョコレートの味の決め手は、カカオの豆から取れるココアバター割合です。日本のチョコレートにはこのココアバターが少なく、その分、植物性油脂を配合しています。そして、固めるために硬化油を使用しています。また、チョコレートのなかには、合成着色料を使っているものもあります。

洋菓子はなるべく控え、チョコレートはカカオ 100%のものにするか、それがなかったら食べないようにしましょう。おやつを食べるなら、おせんべいやお菓子(饅頭、お団子など)、イモ類、豆類などにしましょう。

合成甘味料入りの飲みものも脱毛の原因になる

どこでも自動販売機があり、いろいろな飲料が売られている時代です。それはそれで大変に便利なことですが、問題は、自販機で売られている商品の多くに合成甘味料が使われていることです。

ジュースや清涼飲料水、缶コーヒーなどには、砂糖のような値段の高いものは使用されていません。

基本的には、合成甘味料が使われていると思って間違いないでしょう。

最近では、糖尿病の子供やすぐキレる人が増えています。この大きな原因の一つに、清涼飲料水の合成甘味料の害が指摘されています。

合成甘味料を取りすぎると、イライラや不眠症、神経障害、骨粗しょう症になる恐れもあります。合成甘味料のカルシウム障害によると考えられていますが、この神経障害や不眠症から脱毛症になることも十分に考えられます。

糖類には砂糖、果糖、乳糖、ブドウ糖といったいくつかの種類があります。

怖いことに、ジュースや清涼飲料水、缶コーヒーなどに入っている合成甘味料は、それ自体かすでも腸で吸収されやすい状態になっています。いろいろな弊害を招く恐れのある合成甘味料が、いとも簡単に吸収されてしまうのです。

あなたは、合成甘味料入りの清涼飲料水を習慣的に飲んではいないでしょうか？

夜更かしの生活スタイルがごく当たり前になっています。夜更かしすると、朝は食欲がありません。そこでご飯の代わりにジュースやコーラ、清涼飲料水について手が伸びてしまうのですが、身体の健康からも、髪の毛の健康からもこれは非常に危険です。

さらに、合成甘味料入りの清涼飲料水などには、砂糖と同じく、身体を酸性にする恐れもあります。酸性の体質になると生理機能が正常に維持されなくなり、脱毛の危険を招く恐れも出てくることとなります。

喉が渴いたら、ミネラルウォーターにしましょう。

タバコは、髪をつくる細胞を栄養不足にする

最近では中高年の男性に禁煙が増えているのに対し、逆に若い女性の喫煙者が増えているように思われます。

タバコの煙には、約 4000 種類の化学物質が含まれています。そのなかにはベンツピレンやシアン化水素、ベンゼン、一酸化炭素、ダイオキシン、ポロニウムといった発ガン性物質や発ガン促進物質も 200 種類ほど含まれているといわれています。

これらは体内に活性酸素を異常に増やし、体内の組織破壊を引き起こします。

また、ニコチンをより体内に染み込ませるために、葉を包む紙にアンモニアも含まれているようです。これは喫煙者がタバコを止められなくするため、つまり、よりニコチン中毒にするためであるということはいまでもありません。

ご存知でしょうが、喫煙は肺ガンや動脈硬化を引き起こす、とされています。

タバコの発がん物質は皮下脂肪や内臓脂肪、乳房に蓄積されていくうえ、女性ホルモンはガンを促進させます。



肥満の方や、とくに一般的に女性は皮下脂肪が厚いため、女性は発ガン体質になってしまう恐れがあります。

ガンにならないまでも、喫煙は毛髪にダメージを与えます。

ニコチンやタールなどの有害物質が肺に付着すると、酸素交換を悪くするといわれています。酸素の供給が悪くなると、身体の各器官への栄養が不足することになります。そして、毛細血管から栄養分を与えてもらっている毛乳頭まで栄養分がいき届かなくなり、毛髪のツヤがなくなったり、切れ毛になるケースが多くなります。

そのうえ、本人も気づかないタバコ臭が髪に染み込んでしまいます。

これはニコチンやタールによって毛表皮(キューティクル)がダメージを受けてはかれてしまいます。その結果、切れ毛になったり、ツヤが悪くなったりするほか、洗髪やドライヤーにも大変にもろくなります。

まして、この髪にパーマや毛染めなどの化学的処理をほどこせば、ボロボロのダメージヘアになってしまいます。

20代で禁煙すれば、発ガンのリスクは10年くらいだそうです。しかし、30代、40代での禁煙は、それからの15年間はいつガンを発症するか分からないほどのリスクは高いといわれています。

さらに、タバコの煙を吸った子供は、読解力や計算力などの能力が低下するという報告もあります。これは、タバコの副流煙に含まれる有害物質の影響と考えられるでしょう。

女性の歩きタバコや喫煙している姿は、見た目にも見苦しいものだと思います。ましてや、次の世代を担う大切な子供達の脳に取り返しのつかないダメージを与えてしまいます。喫煙はきっぱり止めましょう。

第7章 子供をハゲさせない知恵も親の愛情です

幼児に増えている脱毛症の回復は、まずスキンシップから

35年ほどにわたって毛髪関係の仕事をしてきましたが、近年、とくに気になることがあります。それは小学生にもならない幼児のうちから、円形脱毛症や多発性脱毛症、広汎性脱毛症、神経性脱毛症にかかる子供たちが増えていることです。

小学生や中学生になると、驚くことに、男性型脱毛の脂漏性脱毛症が加わってきます。高校生以上になりますと、さらに代謝異常性脱毛も加わってきます。

まず幼児からお話しましょう。

幼児の円形脱毛症や多発性脱毛症の第一の要因は、低体温とそれによる自己免疫力の低下によると考えられます。

夜更かし、朝寝坊、朝食抜き、炭酸飲料の取りすぎ、冷たい飲食物の常時摂取、ストレスなどが引き金になり、体内リズムや自律神経のバランスを崩します。

自律神経のバランスの崩れは、いつも交感神経が緊張している状態です。こうなると血液が悪くなって低体温(冷え性体質)となり、そこから自己免疫力が低下してしまうのです。また、細胞の活性化をいちじるしく阻害します。そのことが円形脱毛症の原因となったり、多発性脱毛症や広汎性脱毛症に陥ったりしやすくなります。

体温が低いことは、実はとても危険なことなのです。私たちは熱がでることをとても心配し、「何か病気がかかったかな」と神経を使っています。本当は逆で、低体温は大変に怖いものなのです。

幼児が低体温を招く大きな原因の一つに、ストレスが考えられます。

幼児が円形脱毛症や多発性脱毛症になった環境を見ますと、両親が離婚したり、共働きで、気づかぬうちに不安や大きな悲しみ、我慢のプレッシャーを与えていることがあります。幼い子供にとって、これはとても大きなストレスです。

また、弟や妹が生まれるとどうしても赤ちゃんに手がかかり、お兄ちゃんやお姉ちゃんに目が行き届かなくなりがちです。これまでに受けた相談では、第3子が誕生したとき、第2子に脱毛症を発症するケースがいくつもありました。精神的な不安定が根底にあるように私には感じられました。

回復には、何よりもその子とのスキンシップを大事にしてください。

お風呂に一緒に入って頭や身体を洗ってあげたり、一緒の布団で寝てあげたりし、自分が愛されてい

ると分かれ、生命力を高めるという考え方も必要ではないかと思えます。そのうえで育毛の手当を実行していくことで、徐々に回復していくと思えます。

小学生の脱毛ではストレスが怖い

最近、学校でのいじめ問題もクローズアップされています。

いじめの原因にはいろいろあるでしょうが、脱毛も一つの原因になると思われます。小さな子供が脱毛で胸を痛めているうえ、それが学校でいじめの対象にされるとなると、これは何とかしてあげたいと思います。

小学生の脱毛症は、大きく神経性(ストレス)と食生活の間違い(嗜好品類を含めて)の2つに分けられます。これは、男の子も女の子も共通です。

学歴社会がもたらした成績成果主義、何のための学問かというより名門大学へ入学させるために詰め込み教育、絶えず強いられる友達との競争からのプレッシャー……。

また自分自身へのあせり、消えることのない不安感との戦いによるストレス、家に帰っても、親は先生と同じ監視、監督の目での「勉強しろ」とか「成績が落ちた」といった叱責ばかり……。

これでは、子供の心が休まることがありません。塾通いで夜遅く帰宅したり、それから勉強したりもあるでしょう。眠る時間が深夜になるなどもあるでしょう。

こうしたストレス環境にあると、いつも交感神経の緊張を強いられます。

その結果、交感神経だけが過剰に反応し、アドレナリンやノルアドレナリンの過剰分泌を促進し、酸性体質となって疲れやすくなったり、胃腸の働きを悪くしたりします。

また、自律神経の緊張は血小板の凝固作用を起こし、血液がドロドロになります。とても血流が悪くなり、その結果として低体温を招き、自己免疫力の低下を引き起こします。

「夜寝るのが遅いから、朝はできるだけ寝坊させてあげよう」

こんな気持ちから、遮光カーテンをしているお母さんもいます。

小さな子供でも、りっぱな人間です。人間というものは朝日とともに目覚め、副交感神経優位の状態から交感神経が働くようになるのが自然です。

朝になっても遮光カーテンの部屋は薄暗く、副交感神経と交感神経の切り替えがうまくできなくしています。この状態も血圧が上がらず、体温も上がりません。

繰り返しになりますが、低体温は脱毛を招くことになります。遮光カーテンは止めてレースのカーテンにし、朝の光で自然に目が覚めるようにしましょう。

ストレスの問題は個人個人の生活環境が大きくかかわっていますので、一概にいけない面があります。

子供にストレスを与えないようにと思うと、甘やかすことにもなり、わがままで自分中心のエゴイストに育ててしまうことにもなりかねません。ご両親は、ぜひ慎重に考えて行動してください。

高カロリー・高脂肪食が、小学生男子を男性型脱毛症に

いま、「小学生の男児が、30歳すぎから起こる男性型脱毛症になる大きな要因は、脂質(脂肪酸)の取りすぎです。高カロリー食、高脂肪食を続けてきた結果です。

もちろん、脂質は身体に必要なエネルギー源です。

しかし、母乳が出ないと粉ミルクを飲んだり、幼児のころからカルシウムが取れるとか、身体にいいとかいわれ、牛乳をたくさん飲んできました。母乳と違い、牛乳は大変に脂質が多いものです。

牛乳を飲めばカルシウムが取れるというのは、正しくありません。実は、牛乳のカルシウムは小腸の表面で脂肪酸と結合し、吸収がとても悪いのです。カルシウムが吸収されない牛乳は、高脂肪・高タンパク食品にすぎないものです。

子供の毛髪で牛乳や乳製品以上に心配なのが、動物性脂質です。この60年間で、日本人の食事は肉類が16倍、油脂類が19倍、乳製品が28倍に伸びたといわれます。逆に、魚などは食べなくなっています。

脂質(脂肪酸)は、肉の脂肪に多く含まれる飽和脂肪酸、植物や魚に多い不飽和脂肪酸に分けられます。ちょっと専門的になりますが、不飽和脂肪酸には2種類あります。

①オメガ3系(α-リノレン酸、DHA、EPAなど)……亜麻仁油や青魚に多い

②オメガ6系(リノール酸、γ-リノレン酸、アラキドン酸など)……紅花油などに多い

しかし、これらの摂取バランスが問題です。

理想はオメガ3系と6系が4対1といわれ、オメガ6系のほうが過剰になった場合が問題です。オメガ6系が過剰になると炎症を起こす物質がつくられ、アトピーなどのアレルギーを発症しやすくなります。

また、サラダ油は加熱処理や紫外線で簡単に酸化され、過酸化脂質に変化します。過酸化脂質は神経、免疫力、ホルモンの分泌などの機能を低下させ、アレルギー、ガンなどにかかりやすくなるといわれて

います。水素添加のマーガリンも、身体のなかで溶けません。

サラダ油から過酸化脂質、マーガリンは血液をドロドロにし、毛細血管を詰まらせます。毛髪をつくる組織(毛乳頭)へ栄養と酸素が十分に運ばれなくなり、脱毛のリスクを大きくします。

肥満気味の子供さんを持つお母さんは、肉類の食事をすぐに止めましょう。とくに牛肉のバラ肉は40%、リブコースで35%の脱毛危険要因の脂質を含んでいます。魚類や野菜中心に変え、調理でも油脂類をできるだけ控えることが大切です。

また、子供には、脂肪分の多いマグロのトロなどは食べさせてはいけません。マグロなら、脂肪分の少ない赤身にしましょう。男の子の場合、高カロリー食、高脂肪食を続けて脂質を取りすぎると、男性型脱毛症になることがあります。

子供は、甘いものや合成甘味料入りのジュースや洋菓子も大好きです。こうしたものを取りすぎると、やはり高カロリーや生理機能異常からの毛髪の問題が起きてきます。

女の子の脱毛では、愛情の飢えとストレスに気配りを

小学生の男の子だけでなく、小学生の女の子にも脱毛症が増えています。脱毛症になった女兒の例を見ますと、一人っ子と3人の場合が多いようです。

一人っ子の場合、女の子ということもあって大事にされます。

食生活では、ほとんどの家庭が、子供の欲しがる食物や飲み物を与えているようです。飲み物では、缶ジュースや清涼飲料水などを欲しがるだけ与えます。こうした飲み物が髪の毛に悪いことは、先のところでお話しました。

朝食ではパンやマーガリンを塗り、ベーコンやウインナーソーセージを食べ、牛乳を飲んでいるでしょう。男の子同様、こうした高カロリー、高脂肪食が健康を害し、血流を悪くし、育毛にブレーキをかけていることを知らなければなりません。

なかには、小学生のうちから、太るから朝食を取らない女の子もいるとか聞きます。栄養が偏って健康に問題を起すばかりか、髪の毛にもいいわけがありません。

女の子三人の場合の脱毛は、幼児の場合と同じです。愛情への飢えがストレスとなり、自己免疫力を低下させたり、低体温を招いている恐れがあります。

とくに女の子は、家庭内がうまくいっていなかったり、親とのスキンシップや会話がないうちが危険です。必ずといっていいほど、何らかの身体の変調が見られるようです。

そのシグナルを早く察知できれば良いのですが、傍目にも分かるくらいに異常をきたしてから気づくのが現状でしょう。そのシグナルは家庭内の孤立や子供の単独行動、そして身体に表れる異常が脱毛症です。

女の子では、生理の始まる時期にも要注意です。この時期はホルモンが著しく崩れます。そこに環境ホルモンが入ってきたりすると、脱毛になる危険がとて大きくなるからです。

何とんでも、良質なたんぱく質を摂らせましょう

大人と同様、子供の脱毛症にもいろいろな原因があります。

脱毛症にならない基本は、生活と食事です。生活では、体内リズムや自律神経のバランスを保つようにすることです。そのために夜更かしや朝寝坊を改め、早寝早起きを心がけさせましょう。

食事では高カロリー、高脂肪食を控えてください。朝食抜きは炭酸飲料の摂りすぎ、冷たい飲食物の常時摂取などはすぐに止めさせましょう。

食事では、良質なたんぱく質を摂ることも大切です。

たんぱく質は、約20種類のアミノ酸が結合してできてます。

身体のエネルギー源になるほか、毛髪、皮膚、筋肉、血液、骨などをつくっている大切な栄養素です。また、ホルモン、免疫物質、神経伝達物質もたんぱく質でつくられています。生命を維持するうえで、たんぱく質は本当に欠かせないものなのです。

たんぱく質には肉や魚介類、卵、乳製品などに含まれる動物性と、豆類、穀物類などに含まれる植物性がありますが、たんぱく質のアミノ酸バランスは、それぞれの食品によって違ってきます。

必須アミノ酸が1種類でも足りないと、せっかく摂ったほかのアミノ酸が身体から排泄されてしまいます。アミノ酸(たんぱく質)摂取で、この点はとても大切なことです。

脱毛症になった子供の食生活を見ますと、良質なたんぱく質をまったくといっていいほど摂っていません。自分ではちゃんと摂っているつもりでも、摂れていないのです。

たとえば、1週間分の食事メニューを見てみますと、1週間21回(1日3回)の食事のなかで、3回しか良質なたんぱく質を摂っていなかったり、多くても6~7回ぐらいしか摂取していません。また、ときどき食事を抜く子供が多いことも特徴です。

とくに成長期の子供は、偏った食事から、たんぱく質不足になりやすい傾向があります。毎日、バラ

ンス良くしっかり補給しなければ、毛髪の育成にダメージが起きることは避けられません。偏食やダイエット(肥満児ではない人)などは決してしてはいけません。

脱毛トラブルの人は、魚介類を食べない傾向が強いのも特徴でした。

魚介類に多く含まれるタウリンは、低体温をもたらす交感神経を抑えます。さらに、血管障害を予防したり肝機能を強くし、生活習慣を始めとするさまざまな病気予防や改善に効果があります。

子供の育毛のためにも、体の健康のためにも、タウリンを多く含む貝類やマグロの血合い、タコ、イカなどをもっと食べさせることが必要です。

子供の育毛は、お母さんのつくる食事がとても関係しています。逆にいいますと、子供の脱毛症では、お母さんの責任は非常に大きいのです。ぜひ、その点を心していただくようお願いいたします。

第八章 医療で円形脱毛症は治るのでしょうか？

なぜ、皮膚科で円形脱毛症は治らない？

脱毛症と発毛・育毛の相談をお受けしていて、近年、円形脱毛症の相談が増えていることに驚かされます。昔は円形脱毛症は子供の脱毛症ともいわれたものですが、いまや事情が一変し、大人にも増えているのです。

「半年ぐらい前から皮膚科で円形脱毛症の治療を受けているが、一向によくない」

70代の女性から、こんな相談を受けました。

最初に、左側頭部の上のほうに10円玉ぐらいの脱毛が起こり、現在は5~6センチぐらいに広がっています。1年半ぐらい前には、頭頂部のほうにも脱毛症が広がっていました。複数の円形脱毛症、いわゆる多発性脱毛症です。

皮膚科の治療は液体窒素を噴きつけ、脱毛部に生理食塩水の注射を5ヶ所打ち、トプシムクリーム、ニゾラムローションを塗るものです。抗真菌薬のセファランチン錠も、1日3錠飲んでいるとのことでした。半年通院していても、いまのところまったく効果はないといえます。

皮膚科へ行って治療して、どうして良くならないのでしょうか？

「自分は高齢だから半分あきらめている」

この方はそうおっしゃっています。すべての医療機関がこうした現状ではないと思いますが、脱毛症で苦しんでいる方を見るにつけ、大変に心が痛みます。

液体窒素で皮膚を凍傷にしてどうするのでしょうか？

現代の日本の医学治療は、西洋医学が中心です。長年、私が育毛や発毛の研究をしてきた結果から考えますと、脱毛治療は東洋医学的な考えのほうが良い結果が出せると思います。

西洋医学の考え方は、「病気を診て人を見ず、病変部を徹底的に攻めようとする」ものです。そのため、脱毛症や脱毛部位の頭皮に異常があるとの前提で治療が進められます。そうした前提に立つ円形脱毛症に対する一つの方法として、自己免疫力や治癒力を引き出し高めるとして、脱毛部位に刺激を与え、毛母細胞を活性化しようとする方法があります。刺激を与えるものとして、以前はドライアイスをよく使っていました。最近では機器の進歩により、より強力な液体窒素を噴射しているようです。先の方も、液体窒素の治療を受けていました。

しかし、液体窒素はマイナス196度の超低温です。たとえ短時間の噴射としても、頭皮のその部分は凍傷や壊死を起こすでしょう。ひどいダメージを受けた表皮細胞は、再生できなくなる危険性があります。

医学書などでは、「円形脱毛症の原因は医学的には分かっていない。ストレスが原因とも考えられるが、まだ分からない」と、結論づけています。

では、分からないといいながら、液体窒素などで脱毛部に凍傷を起こしたり、頭皮にダメージを与えたりして良いのでしょうか？

もっとも、それで発毛したとなればまだ良いでしょう。しかし、発毛しないのであれば、この理論は間違っている、脱毛の原因はほかにあるということです。

そもそも液体窒素の怖さは、瞬時に冷凍できる超低温ということです。

液体窒素は精子や卵子の冷凍保存で有名ですが、生花のバラやバナナなどを液体窒素のなかに入れた瞬間、氷の塊になった映像を見られたことがあると思います。精子や卵子は死滅しないようですが、ほとんどの細胞は死滅します。

こうした治療法はとても危険ではないかと思えます。私は、こうした西洋医学的な脱毛治療法には大きな疑問を持っています。

注射による治療はまったく意味がない

皮膚科での円形脱毛症の治療では、以前から、脱毛部位に注射を打っています。

注射では、生理的食塩水と麻酔注射を打つ場合があります。先の方は、生理的食塩水の注射を受けていました。

生理的食塩水の注射は、液体窒素と同じく、脱毛部位に刺激を与えて刺激し、細胞の働きを促そうとするわけですが、そのために何度も注射することになります。

これをされた方たちは、あまりの痛さに治療にいかなくなってしまうそうです。痛いはずですが。わざわざ痛みを起こす注射をしているのですから！

しかし、そんな大変な痛みを我慢しても、発毛してきません。ほとんどの方は通院を止め、治療をあきらめてしまうようです。円形脱毛症に限らず、生理的食塩水はあらゆる脱毛症に発毛効果は期待できないと思うのですが・・・。

一方の麻酔注射の理由は、円形脱毛症の原因をストレスと考えることにあります。

ストレスで交感神経がいつも優位に働くことで、円形脱毛症が起きると考えるのです。そのことから脱毛部位に麻酔を打ち、交感神経を緩和すればいいと思っているのです。

しかし、麻酔剤は、もともと血流を止めるものです。麻酔剤を身体に入れられたことがある方なら分かると思いますが、その部分は大変に冷たくなってしまいます。

麻酔剤を使っても、交感神経が緩和されるはずはありません。

脱毛部位に麻酔剤を入れれば、発毛するどころか、細胞の活性をなくしてしまいます。円形脱毛症に、麻酔剤は何の良い効果も発揮しないと考えます。

ステロイド剤はさらに悪化させる危険が

皮膚科での円形脱毛症治療では、トプシムクリームを使用します。先の方も、トプシムクリームを塗っていました。

トプシムクリームの正体は、ステロイド剤(化学合成された副腎皮質ホルモン)です。主に頭部の皮膚疾患(湿疹や乾癬)に用いられるほか、アトピー性皮膚炎などの皮膚の炎症などにも幅広く使用されています。

ひと口にステロイド剤といっても、作用の強さから外用薬は「最も強い(strongest)」から「弱い(weak)」までの5段階に分けられます。トプシムクリームは「最も強い」の次の「非常に強い(very strong)」に分離され、作用がかなり強力です。

このステロイド剤の起こりえる副作用として、次のようなものがあります。

- ①皮膚の真菌症(カンジダ、白癬症)
- ②細菌性感染症(伝染性膿疱、毛膿炎)
- ③ウィルス感染症

長期連用で起こることがある副作用として、医学書では次のようになっています。

- ①ステロイド挫創
- ②酒さ様皮膚炎
- ③口囲皮膚炎(ほほ、口の周囲などに潮紅、丘疹、膿疱、毛細血管の拡張などが起こる)
- ④ステロイド皮膚炎(皮膚萎縮、毛細血管拡張、紫斑)
- ⑤魚鱗せん様皮膚炎化
- ⑥多毛および色素脱失

私は、円形脱毛症は真菌によるものだと確信しています。自己免疫力が衰えたとき、不潔にしていた枕や枕カバーに真菌などが繁殖し、その真菌などが毛穴から侵入して起きたもの、と私は考えているのです。

このことはあとでお話するとして、気をつけていただきたいことは、ステロイド剤の副作用として真菌症があるとされていることです。

なぜ、真菌症の患者さん(円形脱毛症の方)に、真菌感染を起こすと考えられているステロイド剤をわざわざ使用するのでしょうか？

もう一つ、矛盾があります。円形脱毛症にステロイド剤を使う理由は、ステロイド剤に免疫を抑える効果があるからです。アトピー性皮膚炎などでは、過剰になった免疫を抑えるためにステロイド剤を使用します。

しかし、円形脱毛症の理由は、免疫の低下させて、円形脱毛症を悪化させる心配はないのでしょうか？

円形脱毛症にステロイド剤を使う治療は、本当に理解に苦しみます。

最悪の場合、ステロイド剤は発毛の機会を奪う

ステロイド剤について、もう少しお話ししましょう。ステロイド剤について、新潟大学大学院医学部教授・安保徹先生の著書『体温免疫力』から少し引用させていただきます。

「ステロイド剤は、もともと私たちの体内でつくられている副腎皮質ホルモンという物質です。身体がつくる量はごくわずかなため、薬としては、脂質の一つであるコレステロールから合成してつくられています。

このステロイド剤を長い間肌に塗っていると、皮下組織にコレステロールが沈着し、酸化変性してしまいます。通常のコレステロールは尿中に排泄されますが、酸化変性したコレステロールは排泄されにくい性質があります。その結果、ステロイド剤を使えば使うほど、皮膚に蓄積されることとなります。

酸化変性したコレステロールが皮膚に蓄積されるとどうなるのでしょうか？

酸化物質の刺激で、私たちの身体は交感神経が緊張した状態になります。顆粒球が増え、それが間断なく皮膚組織に侵入し、炎症が起きます。

この炎症は、アトピーによるものではなく、酸化物質に対する反応です。原因は違っても炎症のため、その症状を抑えるためにステロイド剤を用いると、前よりもさらに多くの量を塗らないと、症状は緩和しなくなります。

一方で、ステロイド剤による炎症はさらに広がり、やがてステロイド剤を塗らない場所にさえ炎症が起こるようになります。こうしてステロイド剤の使用量はだんだん増え、炎症は広がり、皮膚のダメージは悪化の一途をたどってしまいます」(安保徹『体温免疫力』)

安保先生の著書には、このような事が述べられています。

長期にわたってステロイド剤を使用していると、酸化物質の沈着が多くなり、交感神経が緊張します。そうすると血管が収縮して血液の流れはとどこおり、皮膚の正常な働きはなくなります。やがては免疫力も低下します。

こうした状態になると、もはや発毛の機会はなくなってきました。円形脱毛症にはステロイド剤を使用しても効果はなく、かえって悪化させてしまうこととなります。

「一度長期にステロイド剤を使用してしまうと、止めたときに強いリバウンド反応が出てしまいます。皮膚が赤く腫れ上がり、くさい臭いのする膿がジクジクと出てきます。もちろん激しいかゆみにも悩まされます。

アトピー性皮膚炎が再発したとと思っている人もいるようですが、実際には再発ではなく、ステロイド切れによるリバウンドなのです。しかし、再発したとあって、再びステロイド治療を始めてしまう人がいます。確かに、ステロイド剤を塗れば炎症は治まるので、治った気になってしまうでしょう。

一方、リバウンドだと分かっているにもかかわらず、その激しい症状に耐え切れず、ステロイド剤を再使用してしまう人もいます。しかし、薬に頼らずに、このリバウンドを克服しない限り、ステロイド剤がもたらす悪化の道を断ち切ることはできません」(『同』)

安保先生は、このようなことをハッキリ記されています。

ステロイド剤を使い続けると、やがて発毛の機会が失われます。止めると、ひどいリバウンドです。これでは、ステロイド剤の治療を受けた方はどうすればいいのでしょうか？

女性へのミノキシジル使用は許されるのか？

男性型脱毛(AGA)のところで、医療機関でフィナステリドの治療を受けられるようになったお話をしました。フィナステリドは女性には使えませんから、女性の円形脱毛症にミノキシジルを使う医療機関があるようです。

ミノキシジルは本来、アップジョン社(現在はファイザー)が高血圧を下げる経口薬として開発したものです。開発の過程で、この薬の副作用として肩や背中、手足などに発毛が見られたことから、脱毛症の外用治療薬「ロゲイン」として発売されています。

最初に発売されたカナダやアメリカでは、ミノキシジルが 2%配合されていました。日本では、1999年からミノキシジル 1%の外用薬が販売されています。

この外用薬を連続使用したとして、効果が出るまでに最低 6 ヶ月は必要といわれています。しかも、1~2年ではほとんど効かなくなり、効果を求めると、使用量を増やすしかありません。使用を中止すればリバウンドで髪が一挙に抜け、また元のようにハゲてしまうともいいます。結局、いったん使い始めれば、どんどん量を増やし続けるしか方法はなくなってしまいます。

それがミノキシジルの効果といえるのですが、副作用も伴います。

ミノキシジルの副作用として多毛症、頭皮のかゆみ、血圧低下、頭痛、胸痛、かすみ目、手・足・顔のしびれや痛み、性欲減退、心拍数の増加、めまい、かぶれなどがあります。決して使用してはいけない人は高血圧症や低血圧症の人、心臓または腎臓に障害のある人、アレルギー体質の人などとなっています。

この外用薬もまた、同じようなことが考えられます。発売元では、次のような女性は使用しないでくださいと言っています。

①未成年者

- ②妊娠、または妊娠していると思われる人。ならびに授乳中の人
- ③妊娠、出産に伴い脱毛している人
- ④避妊用ピルの使用を止めたことにより脱毛している人
- ⑤壮年脱毛症以外の脱毛症(たとえば甲状腺疾患、急激なダイエット、円形脱毛症など)の人、あるいは原因の分からない脱毛症の人
- ⑥頭頂部だけでなく、側頭部や後頭部も含めた頭部全体が脱毛している人
- ⑦脱毛が急であったり、髪がまだら状に抜けている人
- ⑧頭皮から強く引っ張るような髪型によって脱毛している人

ここでとくに注意したいことは、「円形脱毛症には使わないように」といつていることです。ミノキシジルの効果が期待できないというわけですが、皮膚科では、女性の円形脱毛症にミノキシジルを使っています。

医療機関では処方に注意をしているのですが、本当に女性の円形脱毛症にミノキシジルを使用しても良いものなのでしょうか？

ミノキシジルを使って円形脱毛症の治療に当たっている先生方は、発毛・育毛に確かな自信を持っているのでしょうか？もっとも、医療行為としてやる以上は医薬品を使用するしかないのですが、健康を害する危険な薬剤には注意をすることはとても大切なことです。ぜひ気をつけてほしいと思います。

円形脱毛症の原因は、皮膚の真菌にあった！

ここまで、西洋医学による円形脱毛症の研究をしてきました。そのケアは西洋医学や一般の発毛・育毛サロンとは違う考え方ですが、実績を挙げてきました。ここで円形脱毛症について、私の考え方とケアについてお話することにしましょう。

覚えておいででしょうか、先に私はこうお話ししました。

「円形脱毛症は、自己免疫力が衰えたとき、不潔にしていた枕や枕カバーに真菌などが繁殖し、その真菌などが毛穴から侵入して起きたもの」

もうちょっと詳しくいうと、こうなります。

「真菌が毛穴から入り、その真菌を殺すために顆粒球が活性酸素を出します。その活性酸素が毛母細胞を破壊してしまったために、円形脱毛症ができた」

医療の世界では、すでに円形脱毛症は真菌によるものと分かっていると思います。それなのになぜ、真菌に対する治療法を取らないのかと不思議に思っています。

真菌を分かりやすくいうと、いわゆるカビですから実際はどこにでもいます。そして繁殖の条件さえ整えば、一挙に増殖します。

真菌といっても、たくさんの種類があります。

水虫も真菌の一種で、白癬菌と呼ばれています。確かに、この水虫を完治させることは大変です。一度治っても、また何度となくかかります。

顔に白癬菌が増殖したものを「ぜにたむし」と呼び、股間に増殖したものを「いんきんたむし」とも呼んでいます。また、爪に増殖することもあります。これを「爪白癬」といいますが、この治療には抗真菌薬を6ヵ月は飲み続けなければ効果が出ないといわれます。

白癬菌が頭部で繁殖した状態を、「白くも」とも呼びます。円形脱毛症と違って白く粉を吹いたようになり、激しいかゆみを伴いません。ということは、白癬菌が原因ではないということです。

円形脱毛症がかゆみを伴ったり、かいているうちに変な脱毛部が広がっていくことがあります。こうしたときは真菌に白癬菌も加わっていることが考えられ、頭部全体がもっとひどく脱毛する恐れがあります。

清潔な枕カバー。それが円形脱毛症の手当の始まり

毛穴から入り込んだ真菌こそ、円形脱毛症の犯人です。

では、なぜ真菌が毛穴から入り込んだのでしょうか？

「円形脱毛症の根本的原因は、毎日使用する枕にあります。だから、清潔な枕や枕カバーを使う事から手当を始めてください」

こういったら、お笑いになるでしょうか？

円形脱毛ができるのは、エリ足の部分がほとんどです。しかも、まれに側頭部にできたりします。

枕は長時間、汗や頭皮の分泌物が染み込み、そして体温と温度で真菌の発生の条件がそろっています。枕カバーは洗う人でも、枕を洗う人はあまりいないようです。

同じ枕を1年間も洗わずに使用していれば、枕のなかに真菌が増えていても何の不思議もありません。それどころか、2年も3年と同じ枕を使用している人がほとんどといわれます。

当然のこと、枕は自分専用です。真菌の増えている箇所が、寝るたびに頭部の同じ位置にきます。そ

れがエリ足や側頭部というわけです。

ですから、円形脱毛症になって治療しても、枕を新しいものに取り替えないと、また毛穴から真菌が入ってしまいます。そして、その真菌が、毛母細胞のところで顆粒球の出す活性酸素で攻撃を受けるとともに、毛母細胞(毛乳頭)をも破壊してしまいますので、髪が生えてこないのです。

いつまで経っても発毛しないことには、こんな理由があったのです。私は、多くの円形脱毛症の方に対応してきましたが、そうした回復実績からのアドバイスです。

論より証拠。真菌への着目で男の子の円形脱毛症が回復した

毛髪の成長速度は、1日に0.3~0.4ミリです。ましてや毛母細胞が正常にもどり、毛乳頭が細胞分裂をしてから皮膚の表面まで出てくるまで、1~4ヵ月も要します。

そのためになかなか生えてこないの、「この治療法で果たして良いのだろうか」と疑心暗鬼になってしまいます。さらに、間違った治療を受けていけば、4ヵ月待とうが、1年待とうが、髪が生えてくることはありません。

多くの回復実績から、私は、円形脱毛症の短時間での発毛促進研究を進めてきました。私の理論に基づけば、手当後1~2週間で脱毛部の発毛改善が見られます。

論より証拠で、数多くの円形脱毛症のなかから1例だけを紹介しましょう。

お母さんに連れられて、小学生の男児が相談にきました。

円形脱毛症は、丸く5円玉くらいにハゲるので、その名前ができたのでしょうか。しかし、この子の場合には縦に2~3センチ、横に5~6センチの四角く脱毛していました。場所は後頭部のちょうじぼんの窪みの上の出っ張ったところでした。

「皮膚科でも診てもらいましたが、原因不明のために治療法はないといわれました」

不安そうに、お母さんはこういったものです。

坊主にしていましたが、髪が伸びてくれば、その差は歴然とします。多感な年頃でもあり、友達からいじめに遭わなかったのは幸いでしたが、やはり気になるので、その脱毛部分を黒く塗って隠していました。

この子の場合、3ヵ月で元どおりに回復しました。やってもらったことは、次のようなことです。

- ①枕を新しく取り替え、枕カバーを毎日清潔なものにする
- ②毎日か少なくとも1週間以内に1度枕を日に干す。月に1度は枕を洗う。1年に1度は新しく買い換える。
- ③ワールドサイエンスの除菌消臭剤を枕や枕カバーに噴霧する。
- ④和食中心にして冷たいものを飲まず、低体温を改善して自己免疫力を高める
- ⑤頭部常在菌を正常なバランスに整えるため、私が開発したヘアケアシャンプー剤Dを使う
- ⑥異常な細菌が多く繁殖しないため、ワールドサイエンスのヘアケア用ローションZを使う
- ⑦真菌対策と、毛母細胞の活性を促す育毛・発毛促進技術を毎週1回受ける

この結果、3ヵ月で元どおりに回復したのです。これは、私の理論が正しいことのいちばん分かりやすい証明でしょう。

一人ひとりによって環境や状況が違いますから、ワールドサイエンスで脱毛症のご相談をうけたまわります。

ステロイド剤の体外排出法もノウハウがありますから、実際の除去もおこないます。化学物質やホルモン剤はいっさい使用しないナチュラル育毛・発毛促進技術のため、安心してご利用いただけます。

第九章 食事とケアで脱毛のリスクを減らしましょう

異常脱毛は秋・冬に多く発症する

ここまで、脱毛症についていろいろとお話してきました。

毛髪では、異常脱毛しないことがまず大切です。実は、秋と冬に脱毛トラブルが多く、もっとも多いのが冬なのです。これは年代別ということではなく、また男女別ということでもありません。秋、冬に脱毛トラブルが多い原因は気温の低下と、それによる低体温、交感神経優位になりやすいなどです。

寒くなるにしたがい、頭皮の血行が悪くなります。人間を含む哺乳類のほとんどは、恒温動物です。恒常性のために、体温は一定の温度を維持しなければなりません。

人間の体表温度は、場所によって違います。直腸や舌下では36.5℃から37℃ですが、わきの下は36.2℃から36.3℃ぐらいが平熱です。

しかし、体内温度は、酵素がもっとも活発に働ける37.2℃ぐらいで、これを維持しています。酵素が

あまり働いていないことや貧血や交感神経優位の状態を示しています。わきの下で温度を測ると、35°C台の低体温の人が非常に多くいます。東洋医学では、これらの人を未病といい、病気ではないものの、健康でもないとしています。

低体温になりますと、頭皮温も下がり、薄毛やカユミ、フケ症などいろいろな脱毛原因になります。毎年、秋から季節に種々の脱毛症になる人が多くなります。その原因がここにあることがお分かりいただけると思います。

また、血圧の低い人、ガン、アレルギー、胃潰瘍、膠原病など、すべての病気が低体温の状態で起きているそうです。また、逆にこれらの病気になれば体温が下がるということです。

毛髪と身体のために、つねに体温を下げない生活を心がけることが大切です。こうした状況を考えて、血行を良くしたり、頭皮温を上げる育毛用ヘアーローションやヒーティング用ヘアーキャップを使うことは効果があり、大切なことと思います。

数ヶ月前の生活を振り返ってみましょう

脱毛は不思議なもので、現在に原因があってもすぐに抜け毛は出ません。脱毛原因があってから1ヵ月、長い人で3ヵ月近く遅れて脱毛することが意外と多いのです。

秋・冬が脱毛シーズンということは、夏の生活に問題があることを意味しています。

ほとんどの方は、脱毛トラブルに見舞われると、びっくりして、脱毛が病気だと思ってしまう。しかし、脱毛トラブルに見舞われた1ヵ月から3ヵ月前の生活状況を思い出してください。

- ①食事は三食きちんと摂っていましたか？
- ②健康を考えての食事内容でしたか？
- ③遅寝、遅起きが習慣になっていませんでしたか？
- ④飲酒が習慣になっていませんでしたか？
- ⑤喫煙の習慣がありませんか？
- ⑥仕事や勉強、その他で過大なストレスを抱えていませんでしたか？
- ⑦便秘や下痢を繰り返していませんか？
- ⑧低体温や低血圧ではありませんか？
- ⑨頭皮にフケやひどいカユミはありませんでしたか？
- ⑩合成界面活性剤や合成香料、合成保存料入りシャンプー剤を使っていませんでしたか？
- ⑪身体が冷えるような生活や服装、飲食をしていませんか？
- ⑫いつもエアコンが利く環境にいませんでしたか？
- ⑬お風呂に入らず、いつもシャワーで簡単にすましていませんでしたか？

どうでしょう、思い当たることはないでしょうか。

冬は免疫力が落ちますので、以上のような夏の生活が脱毛原因になる可能性が高くなります。こうしたことを早く改善しないと、次は重大な病気になる危険性が高くなります。

「いまは夏じゃないから、もう手遅れじゃない」

こういわれるかもしれませんが、手遅れではありません。秋と冬に適切なヘアケアと生活の見直しをおこない、来年の夏にはいまお話したようなことに気をつけることです。そうすれば、あなたの毛髪は危険を脱出することができます。

生活から、秋・冬の毛髪ケアを考えましょう

秋になると、やたら抜け毛が多くなります。そうした抜け毛を異常な脱毛ではないかと心配する方が意外に多くいます。しかし、多くの場合は一時的なものです。

夏の間は寝不足や暑さのため、食欲不振や偏った食事の影響から身体も弱ったり、栄養バランスが崩れやすいものです。また、エアコンなどで自律神経のバランスを崩していることがあります。秋に、そうした影響が一挙に出てくるのです。

しかし、栄養を十分に摂り、早寝早起きをして体内リズムを元にもどしたり、入浴や温かい飲食物を摂るように心がけることで、自然と抜け毛は治ってきます。

といっても、秋は、夏と同じパターンは止めなければなりません。部屋のなかにも、全体的に気温が下がっています。秋や冬は、とくに内臓を冷やさないようにしましょう。

お腹のあたりには身体のリンパ球の約60%があるといわれますが、内臓を冷やすことは、このリンパ球の流れを悪くします。その結果、風邪を引きやすくなったり、いろいろな病気にかかりやすくなります。

また、お腹を冷やすと交感神経が優位の状態を招き、顆粒球の増殖を起こします。これがどれほど育毛に悪いか、もうおわかりでしょう。

復習ですが、過剰な顆粒球は過剰な活性酸素を出し、上皮組織を破壊します。髪をつくる毛乳頭(毛母

細胞)を破壊することになり、脱毛の原因ともなります。

朝から冷蔵庫で冷えた牛乳を飲んだり、生野菜を食べたりすることが習慣の人は多いでしょう。朝から内臓を冷やすようなことは、絶対に止めましょう。昼や夜も、アイスクリームや冷たいジュース、炭酸飲料、ビールを飲まないようにしましょう。

秋や冬は、シャワーだけの生活も改めましょう。

温かいお風呂に入り、身体を温めるようにして、体内リズムを整え、自律神経のバランスと疲れを早く取るようにしましょう。

育毛のための秋の食事の基本は、旬のものを摂ること

秋や冬は、身体を冷やすものを摂らない---

これが秋や冬の育毛の基本ですが、それ以外に次のようなものは絶対に摂らないようにしましょう。

- ①即席メン(カップメン)
- ②化学調味料(アミノ酸)入りの食品
- ③農薬使用の野菜
- ④亜硝酸塩(発色剤)や合成着色料、合成保存料を使用した食品
- ⑤市販のポテトチップス
- ⑥洋菓子、塩化ナトリウム(精製塩)、硬化油を使用したチョコレート
- ⑦牛乳、ヨーグルト

そこで、育毛のための秋の食事ですが、基本は旬のものを摂ることです。

野菜では、夏野菜や生野菜はできるかぎり摂らないようにしましょう。夏野菜は身体を冷やすからです。生野菜を食べるのであれば温野菜にしたり、味噌汁などの具にして食べましょう。また、ヌカ漬けにして植物性乳酸菌として摂ることもよいでしょう。

魚では、カツオ、赤身のマグロ、シラス、白身魚類、そして青魚類のイワシ、アジ、サバ、サンマなどが旬の魚として摂れますし、身体にとっても良いものです。

タウリンの多いイカ、タコ、エビも良いでしょう。秋からは鉄分やタウリンの多いカキやシジミの貝類が健康の観点からも、発毛・育毛の観点からも大切です。

カキは亜鉛も豊富です。亜鉛が不足すると脱毛を引き起こしたり、発育が遅れたり、肌がカサついたり、傷が回復しにくくなったり、風邪を引きやすくなったりします。また、胃腸の調子が良くない、情緒不安定、動脈硬化を進めるなどの影響が出ます。

カキ以外に、豚、羊の肩赤身肉、レバーには亜鉛も多く含まれています。食べ物からの摂取の場合、摂りすぎを心配する必要はありません。

海藻類はミネラルも豊富で、しかも水溶性植物繊維は便秘予防としてもぜひ食べて欲しいものです。その他、大豆(豆類)および大豆製品、ゴマなどがお勧めです。

朝食は必ず摂るようにしましょう。

味噌汁とご飯、漬物、魚の和食が日本人にとっての健康メニューです。秋の育毛のために、肉類は牛肉は止めましょう。肉類であれば鶏肉や豚肉の赤身にし、魚介類を中心に、旬の野菜とともに食べるようにしてください。



野菜では、硝酸塩の摂りすぎに注意しましょう

いま、「秋は旬の野菜を摂りましょう」といいましたが、一つだけ注意していただきたい点があります。それは硝酸塩の摂りすぎです。

「健康のためにもっと野菜を食べなさい」

よくこういわれます。

確かに、日本人の場合は、厚生労働省が目標とする1日の摂取量350グラムに対し、285グラムしか摂取していないとのこと。しかし、硝酸塩を摂りすぎていることから、健康被害が心配されています。

硝酸塩は体内で亜硝酸塩に変化します。この変化が起こると毒性が強くなったり、ニトロソ化合物の発ガン性物質に変化したりします。ですから、できるかぎり摂取しないほうがよいのです。

亜硝酸塩はまた赤血球のヘモグロビンを破壊し、血液が酸素を運ばなくなります。そのため、幼児に

は重大な健康被害が起きます。大人でも貧血の原因になるほか、育毛上からも薄毛や猫毛、異常脱毛の原因ともなります。

青汁などの簡単に野菜が取れて良いとするものでも、1袋で1日の摂取許容量の200ミリグラムを超えているものがありますので、注意が必要です。自宅で作る野菜ジュースのほうが安全です。

硝酸塩はほうれん草、春菊、小松菜、大根の葉、パセリ、チンゲン菜などに多く含まれています。また、野菜以外では、発色剤としてタラコや食肉製品、発酵調整剤として日本酒やチーズなどにも使用されています。

しかし、食品添加物からの摂取量は少なく(それでも摂取しないにこしたことはありません)、野菜からの摂取量が96%です。そこで、野菜の摂りかたを考える必要があります。

硝酸塩が少ない野菜は、キャベツ、白菜、キュウリ、トマト、ニンジン、ネギ、イモ類、豆類です。こうした野菜を普通に食べていれば、硝酸塩を摂りすぎることはありません。なお、買う場合はハウス栽培ものを避け、旬の露地栽培ものを選ぶようにしましょう。

冬の食事の基本は、何といても「身体を温める」こと

冬は、秋にもまして外気温(室温)が下がります。

脱毛を防ぐため、育毛のために、秋以上に体温の低下には注意しましょう。日頃から低体温の人は、とくに注意してください。いつもストレスにさらされている人、緊張から自律神経のバランスを崩しているような人も要注意です。

繰り返しになりますが、冬はオレンジジュースやビール、炭酸飲料など冷たい飲み物や身体を冷やす飲食物を飲まないようにしましょう。冬の飲み物としては、みかんジュースやリンゴジュース、豆乳のきなこ入りドリンクなどが良いでしょう。

ただし、みかんもリンゴも、生を絞って飲むことです。市販のジュースには果糖や合成甘味料が入っているからです。果糖は神経障害を引き起こす心配がありますし、合成甘味料は糖尿病を招く恐れがあります。

夜型生活の人はいつまでも起きていたり、朝寝坊を早く改めてください。そうした生活は基礎体温が上昇せず、低体温を招いてしまいます。

育毛のために冬で何より注意が必要なことは、内臓を温める食事を摂ることです。

最近流通が発達し、一年中、好きなものが食べられます。冬でもスイカやメロン、パイナップルなどが食べられますが、夏の果物や野菜は身体を冷やすものです。冬野菜は、根菜類が多いことが特徴です。

朝は、おかゆが胃に負担をかけず消化も良いですし、お米からの糖質も摂れ、エネルギー源としても最良です。もうひと工夫して、イモ粥とノリと漬物の朝食も考えたいものです。

イモ粥は糖質が取れ、内臓を温める時間が長くなります。ノリからはミネラル、漬物からはナトリウムと植物性乳酸菌の摂取ができます。

身体を温めて健康や育毛上からもお勧めしたいものが、味噌汁(豆乳)や鍋物です。日本人は牛乳などの脂肪分の多いものでつくったクリームスープより、味噌汁が身体に合っています。

朝は暖かい味噌汁や温かい豆乳を飲むようにすると、体内温度の上昇が望めます。寒い外に出かける際には、保湿効果のあるクズ湯を利用するとよいでしょう。

また、何かゾクゾクと寒気のするときは、蜂蜜に黒砂糖を加え、そこに熱いお湯を注いでショウガをすり下ろして入れると、風邪の予防にもなります。

冬は、豆乳鍋、海鮮鍋、キムチチゲ、カキ鍋、味噌鍋などレパートリーが豊富です。寒い時期は、こうした温かい鍋もので身体とお腹を温めてください。

夏の洗髪が秋・冬の脱毛を握っている

このセクションの最後に、育毛のための生活と毛髪ケアの要点をお話しましょう。

次の夏にはぜひ参考にされ、育毛に役立てていただきたいと思います。

すでにお話したように、脱毛トラブルが多いのは秋と冬です。原因は夏の洗髪だけではありませんが、使っているシャンプー剤にも大きな原因があると考えられます。

汗や分泌物で、夏はとにかく頭皮が不潔になります。夏はとくに頭皮の皮脂が多く出るようになりますが、それは頭皮を紫外線や直射日光から保護するためです。

頭皮の汚れは、必ずその日のうちに、良質なアミノ酸シャンプー剤で洗い落としましょう。不潔にしたまましていると湿疹ができたり、かゆみの原因になるほか、脱毛原因にもなります。

夜のうちにまた頭皮に汗をかいたら、本来なら夜だけの洗髪で良いのですが、朝も洗髪しましょう。ただし、くれぐれも石油からつくられた合成界面活性剤、化学香料、合成保存料、合成着色料などの入ったシャンプー剤で朝晩洗わないでしましょう。

女子中学生や女子高校生は、毎年、夏の間、薄毛になっていることがあります。汗や臭いを気にするあまり、強力な脱脂作用があるとも知らず、合成界面活性剤入りのシャンプー剤で皮脂を取りすぎてしまうからです。

夏の洗髪は、秋・冬の脱毛のカギを握っています。シャンプー剤は、ただ汚れを落とせばよいものではありません。皮膚科学、生理学に基づいた正しいシャンプー剤を使ってください。

あえていうまでもないでしょうが、シャンプー剤は、何も夏にだけ注意すべきことではありません。シャンプー剤は、合成界面活性剤や合成香料、防腐剤をいっさい使用していないものにしましょう。薄毛を引き起こさないために、ぜひお勧めします。シャンプー剤については、もう一度、第二章をお読みいただきたいと思います。

寒い時期と違い、夏はシャワーですませてしまう方が多いのではないのでしょうか？

洗髪したときはシャワーではなく、お風呂につかるようにしましょう。洗髪しないときも、お風呂につかることをお勧めします。

エアコンや冷たい飲食物を摂っていると身体は緊張の神経といわれる交感神経優位の状態が続きます。身体を冷やし基礎代謝が落ちているうえ、交感神経の影響でますます血流も悪くなります。それが秋や冬の薄毛や脱毛につながります。

夜は必ずお風呂に入り、さっぱり汗をかくようにしましょう。お風呂は交感神経をしずめ、副交感神経を優位にしてくれます。そのときに、良質のシャンプーで洗髪していれば効果は一石二鳥です。お風呂に入る日本人の習慣はとても身体に良いものです。ぜひとも良い習慣は続けていきたいものです。



夏は、ビタミンやミネラル補給を忘れずに

夏の脱毛症対策として、食事面ではビタミンやミネラルの補給を考えましょう。ビタミンやミネラルは夏バテ防止にも効果があります。

ミネラルは、私たちの身体のなかではつくられません。身体に絶対必要なミネラルを必須ミネラルといいますが、必須ミネラルが摂れていないと、生命活動を指示する大切なホルモンが出なくなります。

また、鉄分不足の女性やとくにスポーツをされている方は、貧血に気をつけてください。鉄分の多い食事はレバーやアサリ、シジミ、海藻のヒジキなどです。いまから栄養補給を心がけましょう。こうした栄養は、毛髪の育成にとっても大切です。

身体がどうも重くだるい・・・、何だか元気が出ない・・・、身体の芯から冷えているような気がする・・・。

こんな方は酵素が働いていないことも考えられます。ビタミンやミネラルが働くためには、酵素が欠かせません。生野菜や鮮度の良い生肉、生魚(お刺身)を食べ、酵素を摂りましょう。

また、夏は冷たいものばかりをどうしても摂りがちで、腸を冷やします。腸が冷えますと腸の悪玉菌が繁殖し、身体に変調をきたします。

腸内細菌のバランスを整えるためには、植物性乳酸菌や納豆菌を納豆やお漬物から摂りましょう。お漬物は、夏にとくに必要なナトリウムやミネラルも豊富です。1日1個の梅干は、整腸作用の観点からもお勧めです。

ヨーグルトから乳酸菌を摂る方法もありますが、日本人には腸の未消化の乳糖がたまり、腸の働きを悪くするともいわれています。乳製品は、日本人にはあまり適していないようです。白人と日本人では、根本的に体質が違うのです。

化学調味料(アミノ酸)や合成着色料、合成保存料、亜硝酸塩、亜硫酸塩、リン酸塩の使用してあるものは、いっさい食べないようにしましょう。

冷たい飲み物に注意し、体調維持に万全を

夏は、どうしても冷たいものが欲しくなります。

飲み物は嗜好品ですから、意外と同じものを飲む傾向があります。最近はどこにでもジュースや缶コーヒー、コーラなどを売っていますから、好きなものをいくらでも飲むことができます。

しかし、これらのものは天然のものではありません。合成甘味料や合成着色料、合成保存料が入っています。こうしたものを常飲していると男性型脱毛症になる危険があるうえ、急性糖尿病になる危険性もあります。

また、これらのものを飲んでも喉の渇きは治まることはありません。かえって渇きが増し、もったこうしたものを飲んでしまいます。合成甘味料はとても危険なものです。

夏にかぎらずスポーツドリンクを飲む方も多いようですが、お勧めできません。スポーツドリンクには化学調味料のグルタミン酸ナトリウム(アミノ酸と表示してあります)が入っています。

グルタミン酸は自然のアミノ酸の一種ですが、グルタミン酸ナトリウムは化学物質です。一般には「調味料アミノ酸」といい、食品添加物などとして入っています。

この化学物質は、脳に大きなダメージを与えると恐れられているものらしいです。とくに、成長過程にある子供に与える影響ははかり知れないものがあり、スポーツドリンクを飲み続ける子供は心配です。

脳へのダメージはやる気をなくし、生命力を落とし、人間としての理性と知性、感情を危うくしま

す。あなたに子供さんがいれば、子供さんには飲ませないようにしましょう。

こうした化学調味料の危険性をいわれながら、グルタミン酸ナトリウムの脳への影響の研究がなぜ出てこないのか、不思議です。私もひとロスポーツドリンクを飲んでみましたが、気持ち悪くなって1本は飲むことができませんでした。その後、水を飲んでやっと落ち着いたものです。

いちばん安全で、しかも安上がり、そのうえ健康にも良い夏の飲み物は、自分で有機栽培の麦茶や玄米茶を沸かして飲むことです。エアコンをいつもかけている方は、ショウガ湯に蜂蜜を少し入れて飲むようにすると、内蔵を冷えから守ってくれます。

コーヒーのカフェインやお茶のタンニン、そしてお酒のアルコールは利尿作用がありますので、暑い日には、熱中症になる危険があります。

またスイカやウリ科は身体を冷やす作用がありますので、果物とともに夏は大いに食べましょう。とにかく体調を崩さないことが、最良の脱毛予防です。

育毛ケアには、細胞代謝をうながすソフトレーザーも有効

育毛ケアには、レーザー光の活用も有効です。

近年、レーザー光の研究と実用が目覚しく進歩しました。美容では傷跡を残さずにシミやソバカスを取る手術、医療では金属メスの代わりにレーザーメスを使う手術など、いろいろな現場でレーザー光が用いられています。

こうしたレーザーは、光を一点に集めることで得られる強力な熱エネルギーを利用します。使用には高度で専門的な技術が求められ、医師が取り扱います。

そうした強力なレーザー以外に熱を出さない低出力のレーザーも開発されています。それが、「ソフトレーザー」と呼ばれるもので、私たちの身体に使用しても、ほとんど温度が変化しない安全なものです。

ソフトレーザーの代表が、半導体レーザーやヘリウムネオンガスレーザーです。このソフトレーザーは大きな破壊力を持たない代わりに、鮮やかな赤色光線が滞った細胞代謝を刺激し、細胞を活性化すると考えられています。

ソフトレーザーの鮮やかな赤色光線には、次のような作用があるとされています。

- ①代謝と血液循環を促進する
- ②タンパク質合成の速度を早める
- ③酵素を活性化させる
- ④傷口、および神経組織の再生を早める

これらの作用が頭皮を活性化し、頭皮の弾力性と保湿性を復活させます。さらに、血行を良くし、育毛に大きな効果が期待されるのです。

私は新たに、頭皮・頭髮のケアを考え、最新の美容ソフトレーザー器を開発しました。それが、美容スキンレーザー「ブロッサムレーザー」です。いかに効率よく皮膚や細胞にレーザー光を照射できるかを追求した結果、この「ブロッサムレーザー」が誕生しました。

このソフトレーザー器には、36ものレーザー照射口があります。

これだけ多くの照射口を備えたことで、短時間の照射で広範囲のケアが可能になりました。従来のピンポイントレーザー器にはケアに時間がかかる難点がありましたが、その難点が解消されたわけです。

さらに、ヘッド部の4ブロックのうち1ブロックだけやや出力を高く設定し、ヘッド部が回転する工夫もほどこしました。そのことで頭皮への照射に強弱が生まれ、頭皮の細胞全体への効率の良い作用が期待できます。

ワールドサイエンスの店舗では、この「ブロッサムレーザー」を備えています。

育毛のケアに見えられた方に活用し、ご好評をいただいております。

「ブロッサムレーザー」の用途は、育毛ケアだけではなく、

顔のケア(目元や口元の小じわ、ほほのたるみ、首のシワ、肌のくすみ)、ボディケア(膝やひじの関節、腹部や手の甲・指・肩・腰・背中のハリやコリ)などにも利用できます。

また、手軽に使えるソフトレーザー器として、ソフトレーザーとゲルマニウムの長所を活用した

「ゲルマニウム・ソフトレーザー」も開発しています。



この「ゲルマニウム・ソフトレーザー」はハンディなソフトレーザー器で、自宅でも簡単に使えます。育毛ケア以外に、顔のケア、ボディケアにも使え、コンパクトでありながらとても広い利用範囲を持っています。ワールドサイエンスのみ取り扱いをしています。

「ブロッサムレーザー」や「ゲルマニウム・ソフトレーザー」は、医療機関ではありません。皮膚の活性化としての美容目的に開発されているため、どなたでも安心して使用することができます。また、副作用の心配もありません。



第十章 薄毛・脱毛症の方は育毛用ウィッグを使いましょう

時代はオーダーウィッグの時代に

薄毛や脱毛症の方はウィッグを使うことに抵抗感があるようです。しかし、ウィッグもハゲ隠しではない育毛アイテムです。私が考案した育毛用ウィッグは毛髪再生のための機能性があり、育毛用には大変に有効なものです。

風が心地よく感じられる秋になると、おしゃれ用のオーダーメイドのウィッグをつくられる方が大変に多くおられます。

夏は、ウィッグの使用を思ってみても、暑いこともあってなかなかかぶる気持ちにはなりません。やはり、涼しくなってきましたと、旅行やショッピングをしたくなったり、おしゃれをしたくなってきました。服装も秋物は大変にファッションブルなものが多く、女性は秋がいちばん美しくなるように思います。

いまでこそ、いろいろなところで女性用のオーダーウィッグを販売するようになってきましたが、実は、この女性用のオーダーウィッグを最初につくったのは私です。その後も、長い間にわたって研究開発を続けてきました。

当初はネットベースが硬いものしかなかったり、髪の色は真っ黒、黒、自然色の3種類しかありませんでした。しかし、現在では、人毛のカラーは要望のほとんどの色がつくれます。また、耐久性のある生え際つきのウィッグもできるようになりました。

いまは、夏用のウィッグも完成しています。

ウィッグの季節性を持たせることを考えたのも私です。その理由は、毎日気持ち良く使用するためには、夏はとくに蒸れたりするものは困るからです。

夏用では、ウィッグの髪を植えつけるベースのネットを大・中・小のメッシュにしたり、その組み合わせで、少ない毛量でも自然なボリューム感を出し、軽くしました。

また、とても人毛に近い、軽くて水分を吸わずに型崩れしない人工毛を人毛と絶妙なバランスで混ぜており、涼しく快適なウィッグです。

頭皮から噴き出す汗は、とてもいやなものです。私の開発したウィッグであれば、暑い夏も快適に、しかも楽しく過ごせます。

「私は、デパートなどで、既製品のカツラしか見たことがない。オーダーウィッグって、どんなものだろう？」

こう思われるかもしれません。

オーダーウィッグは、頭のサイズや形を測り、色や長さ、毛量、カールやウェーブ、そして髪を植えつけるベースとなるネットや人工皮膚の色に至るまで、何から何まで指示ができます。ご自分の要望を余すところなく再現できるわけです。本当に最近のウィッグは良くなりました。

しかし、一部のかつら会社では、オーダーと言いながら、じつは既製品を売っているらしいと聞きました。まさかそんな不誠実なところがあるとは信じられませんが、不安なときはそこで型取りの型紙と製品が同じサイズかどうか確認しましょう。プカプカしたり、しっとりこないウィッグはその点を気をつけましょう。

オーダーウィッグの自己表現が女性を健康で長生きにする

それまでは既製品のカツラを使用されていた女性で、私がオーダーウィッグを手がけた方がいます。その方はオーダーウィッグがあることをご存知ありませんでしたが、ボブスタイルの部分ウィッグを注文されました。

注文のウィッグができ上がり、さっそく装着しました。ボブスタイルの部分ウィッグには、前髪に少しカールをつけ、柔らかさを出しました。

使っていた既製品のカツラを取ってオーダーウィッグに変えた瞬間、顔が明るく華やいだ感じになり、雰囲気もエレガントさが出てきました。毛色は真っ黒ではなく、少し栗色にされましたが、こうした色合いもやさしい雰囲気をかもし出しています。とても 60 歳をすぎているとは見えません。

正直、私も感動しました。長年、毛髪業をしてきてもヘアー・スタイルの持つ不思議さにはそのつど新たな魅力と驚きを感じます。オーダーウィッグを楽しんでいただくと、こちらもうれいを感じ、大変にうれしく思ったものです。

ヘアー・スタイルは、その人その人の人格や気品をあらわし、とても大切な自己表現と美的表現をしていると思います。装着した感じと使用感に満足され、和服のときに使う小さな髷(マゲ)も求められました。

いくつになっても、女性はおしゃれ心をなくしません。また、なくして欲しくありません。50 歳から 80 歳の方で、ウィッグを使われている方はたくさんおられます。女性が健康で長生きする秘密は、いつまでもおしゃれ心を持ち続けることだと思います。

女性のオーダーウィッグは部分用がお勧め

女性用のオーダーウィッグは、その方の地毛を利用できるため、地毛を傷めない、とくに育毛用の部分用が良いと思います。既製品では自分の毛色や毛質とまったく違いますから、差が出てしまって大変に不自然になってしまいます。

デパートなどで付け毛やまげを買ってつけている方を見ますと、ハッキリと毛色の違いがあり、せつかくのおしゃれが台なしになっています。

おしゃれでウィッグを使うときには、やはりウィッグと分からない自然な感じで、素敵になっていただきたいものです。

また、最近では、以前は「男性カツラ」を専門に販売していたカツラ会社も、テレビ CM で盛んに女性用のウィッグを宣伝しています。

しかし、オーダーウィッグは自分の要望をハッキリさせ、そのうえでいかに自然で、魅力的なヘアー・スタイルをつくりあげるかです。それにはやはり、女性専門のウィッグの長い経験が必要で、そうした経験を持つ熟練技術者がおこなうことが必要です。

ワールドサイエンスのオーダーウィッグの技術者は、女性専用のオーダーウィッグの熟練技術者で、私が研究開発した技術を習得した、10 年～20 年以上の経験者ばかりです。

自然の髪と違い、一度切ってしまうと、ウィッグの髪は二度と伸びてきません。

そして、長く使うためには、ウィッグにパーマをかけるときにも普通のパーマ液ではダメです。トリートメント式アミノ酸パーマにしなければ、毛髪が大変に傷んでしまうのです。こうしたこともまた、多くの経験を経ていることが重要になります。

抗がん剤の脱毛に、ウィッグを活用する男性も

男性でウィッグを注文された方に、抗がん剤治療を受けた方もあります。

その方は治療のために抗がん剤の投与を受けられました。その後、この方は髪が一挙に抜けてしまっていました。

「主人が仕事に出るのに、髪がないままでは忍びない」

一緒にこられた奥様は、こういわれたものです。

ガンの治療過程であるとしても、髪がなくなることは大変にショックであるうえ、生活上も困ります。この方の場合、明後日の月曜日からお仕事に出られるとのことで、急遽、私のところに相談に見えたのです。

抗がん剤による脱毛は抗がん剤治療が終わればまた髪が生えてきます。そこで地毛がまだ少し残っていましたが、急ぎのことであり、イージーオーダーの部分ウィッグをおつけしました。年齢に合った毛量と白髪が少し入ったピッタリの部分ウィッグでした。装着感も、ヘアー・スタイルもすべて気に入られ、とても喜んでいただきました。

「この仕事をやってきてよかった」

その方の喜ばれる顔を拝見し、しみじみ実感したものでした。

1 週間後、その方が見えました。「上手にお使いになっているだろうか？」と心配でしたが、とても自然に使われていてホッとしました。

「会社に出ても誰にも分からなかったし、少しも変な目で見られませんでしたよ」

その方は、こう言って喜ばれました。

ガンにかかることももちろんいやですが、髪が抜けたりする精神的なものや、激しい痛みによる絶え

間のない肉体的苦痛も耐えられないと思います。

薬による副作用の脱毛は、薬の服用を止めてしばらくすれば生えてきます。とはいっても、いつ生えてくるかは定かではありません。

しかし、その間、ウィッグを使うことで、以前のような社会生活を送ることができます。ウィッグに感謝していただき、うれしく思ったものです。いつまでも元気で活躍されるよう、心から願ってやみません。

医療用ウィッグで頭皮を大切にしましょう

前途の方の場合は急ぎだったので、部分ウィッグで対応しましたが、抗がん剤投与の副作用による脱毛や、頭部の手術、火傷跡への処置として医療用ウィッグがあります。

抗がん剤による急激な脱毛は、頭部の大きささえも小さくします。そして、発毛してくると、頭部もまた元の大きさに戻りますが、頭髪が生えて伸びてきた分、より大きくなります。そのため、ある程度収縮できるようになっています。

また、長い時間被りますから、柔らかいベースネットで軽くつくってあります。通気性も十分にあり、帽子の代わりに手軽に使用できます。

また、手術跡は皮膚が弱くなっているため、柔らかいベースを使用して皮膚を大切に保護しながら、自然に脱毛部を保護します。

このように、医療用ウィッグは育毛を邪魔しないように細やかな配慮がなされています。

男性用ウィッグで、毛髪コンプレックスを吹き飛ばしましょう

抗がん剤による脱毛症だけでなく、男性にもウィッグを使っている方はおられます。

育毛・発毛の宣伝が目立ち、女性用のウィッグがものすごい勢いでブームになっているなか、「男性用のカツラ」はほとんど宣伝らしきものが見当りません。

私が毛髪業の世界に入ったのがいまから 35 年ほど前ですがねそのころから徐々に「男性用カツラ」の使用者は増えてきました。しかし、「いま、宣伝していないから使用している男性がいないのか」と街に出てみますと、意外と多くの男性がかぶっています。

一度使用すると、やはり若々しく見えます。仕事や社会生活を営むうえで、若々しく見えることはとても大切な要素なのです。女性の目から見ても、髪があり、格好よい男性にあこがれるものです。

「カツラをつけている男性をどう思いますか？」

女性にこうかがうと、多くの女性はどう答えられると思われるでしょうか？

「ハゲは仕方がないと思うけど、それをそのままにしているのは無神経。いまは自然な男性用のウィッグがあるのだから、それを使用することが女性に対するマナーであり、思いやりじゃない」

こう思っている女性がほとんどなのです。「毛髪コンプレックスを感じているより、それを克服し、自信を持って欲しい」ということでしょう。私も同感です。

最近では、男性用ウィッグの既製品を販売する通販やカツラショップも出てきました。

既製品は大量生産でつくりやすいため価格は確かに安くできますが、自分に合わせたものではありませんから、似合うはずはありません。どう見てもカツラ、カツラしてしまいます。

女性の場合、ウィッグはまずおしゃれ用です。対して、男性は実用的に使います。女性ではウィッグと分かっていてもそれがおしゃれになります。男性用カツラはカツラと分かってはいけないものです。

実用的にお使いになるのであれば、不自然なものや違和感のあるものは使用しないことが望ましいと思います。実用的に毎日使うものであれば、オーダーメイドで自分にピッタリ合うものをおつくりになることをお勧めします。

技術者次第で、カツラと分からない男性用ウィッグはつくれる

朝のホームで、カツラを使用している 20 代の男性を見かけました。

紺のスーツをビシッと着こなし、理容室にいったばかりなのでしょう。スツはとてもきれいにカットされていました。そこまでは良かったのですが、その上のヘアー・スタイルが妙におかしいのです。

スツの髪の上に、上からの髪がかぶさっていました。髪が真っ黒なことも、不自然な印象を与えました。前髪や天頂部も直毛で、何か変な感じがします。残念なことですが、こうしたケースはしばしば見かけます。

全頭用のウィッグの製品は、多くの場合、不自然さが気になります。その難しさは理解できますが、もっと簡単な部分用ウィッグでも、遠くから見たり、テレビ画面や写真でもすぐにカツラと分かってしまいます。

カツラはベースの上に、直毛の毛髪を結びつけてつくります。当然、そのままでは自分の髪の長さが

違いますし、自然な感じを出すためには色や質、太さ、毛量、薄毛の範囲などに合わせなければなりません。

その人に合った自然な仕上がりにするために最も大切なことは、ヘア・デザインです。自然に見せるためにはデザインパーマをかけたり、風や動作で髪が自然に動くようにカットする技術が求められます。

また、年齢に合った毛量やボリュームも大切な要素です。

あまり毛量を多くせず、ボリューム感を出すことが重要です。白髪があれば、当然、カツラにも同じ量の白髪を入れる必要があります。価格が安いものは、毛量の配慮がおろそかになっている気がします。

さらに、人工皮膚もついていないようです。分け目があれば、実はそこがいちばん目につくところです。ウィッグの自然さでは、人工皮膚がついているかも重要です。

そして、部分用は、あくまでも地毛と自然に馴染んでいることが重要です。

こうしたことから、部分用も全頭用も、自然さを追求すればオーダーウィッグにならざるをえません。そして脱毛部がもっと広がらないために育毛用ウィッグにするようにしましょう。

取り付け位置も重要なポイントです。あまり前のほうに取り付けて額を狭く見せてしまうことは、非常に不自然になります。

こうしたことからオーダーウィッグをつくる時は、経験豊富なウィッグデザイナーがデザインすると同時に、取り付けをおこなうことも大切になります。

莫大な宣伝費をかけてテレビ CM をおこなっているカツラ会社もありますが、残念なことに、そこまで素晴らしい男性用カツラを使用している方をなかなか見かけません。

多分、オーダーカツラ専門の長い経験を積んだ熟練技術者がいないことが原因なのでしょう。そうした会社はお金儲けには一生懸命ですが、本当に自然でセンスのある男性用カツラには一生懸命になっていないように思えます。

ウィッグをお使いの男性で、ご自分でも気になっている方はおられるでしょう。

ご相談いただければ、いろいろと具合の良くないウィッグの調整をおこないたいと思っています。もちろん、どのようなウィッグでもご相談に乗れます。

貼りつける男性用部分カツラは、二度と生えてこない恐れも！

最近、テレビ CM で「男性用の部分カツラ」をいかに自然であるとか、引っ張っても取れないと宣伝しています。これは主に極薄のフィルムベースや透明ネットに髪や人工毛髪を結びつけた部分カツラを、強力な両面テープや接着剤で頭皮に貼りつけるものです。両面で見ると自然に映りますが、ベースを極端に薄くして生え際の毛量を少なくすれば、近くで見るとやはり不自然なところが出てくるように思います。テレビではその場限りですから、見栄えは良くできますが、実用的となるとどうでしょうか？

実は 30 年前からこうしたものはありました。映画の『007 シリーズ』でジェームズ・ボンド役を演じたのはショーン・コネリーです。当時から、彼はこうした貼り付けるタイプのカツラを使っていたといえます。

30 年前のものとの現代のものとの違いは、貼りつけるための両面テープがとても強力になっています。また液体のマスカラ様の刷毛で塗る方式の接着剤もあります。

こうしたカツラは、育毛や発毛に大きな弊害が起きることをご存知でしょうか？

この強力な両面テープつきカツラを使用していると、貼りつけているところの頭髪はカツラをはがすときに抜けてしまい、二度と生えてこなくなる恐れがあるのです。

そのうえ、この強力な両面テープはシリコン樹脂ベースを変質させ、硬く、もろくなり、破損させる恐れが考えられます。つまり、耐久性がないということです。

最初、一つが安いと思っても、短時間しか持たないようです。その結果、次から次へと買うことになり、いつの間にか、多額のお金を費やしてしまったということになってしまいます。

また、ベースであるネットや極薄フィルムベースに通気性を持たせたとしても、両面テープに通気性はありません。結果的に頭皮の毛穴をふさぎ、生理活性を妨げることになってしまいます。育毛の観点から、私は、こうした部分カツラはお勧めできません。

驚くことに、この地毛を抜いてしまう恐れのあるカツラを販売している会社が、育毛や発毛の手当をすると宣伝しています。一方で地毛を抜き、一方で育毛・発毛をする・・・これは誰が考えても矛盾しています。ワールドサイエンスの育毛用ウィッグが安心です。

ウィッグは週に 1 度は洗い、除菌消臭剤でケアを

ウィッグを毎日使用していると、かなり不快な臭いを出すことがあります。

困ることは、それがかなり不快な臭いであっても、本人は意外にその臭いに気づかず、ウィッグから不快な臭いを発していることの意識がないことです。

カツラメーカーでは、普通、裏の素材に殺菌・抗菌処理をほどこしません。ウィッグを清潔に保つためには洗うしか方法がないわけですが、傷むことを心配してあまり洗わない方が多いようです。

男性の場合、多分、月に1度ぐらいしか洗っていないのではないのでしょうか？

頭部には、頭部常在菌という皮脂が付着しています。しかも、体温で温めているうえに適度な湿気もありますから、細菌の繁殖にはうってつけの環境です。

ウィッグをつけるたびに、頭皮やそうした分泌物や皮脂に触れることとなります。不潔なばかりか、炎症を起こす原因になったり、脱毛を悪化させることとなります。

私が頭皮のデドックスをおこないますと、頭皮から白い皮脂や老廃物のようなものが出てきます。ウィッグを使い続けるために新陳代謝が悪くなり、頭皮のなかにそうした皮脂や老廃物がたまってしまうのです。

女性の方は、さすがに臭いのことは分かっているようですが、その臭いを消す意味からか、オーデコロンや香水をかけてごまかしているようです。

しかし、これは不快な臭いに他の強烈な匂いを加えることになり、かえってより強烈な臭いが出てしまいます。

ウィッグは、せめて1週間に1度ぐらいは、良質のアミノ酸系シャンプー剤で一晩浸け置きして洗うようにしてください。そして、ウィッグを使用したそのつど、濡れタオルを固く絞ってウィッグの裏側の汗や皮脂をていねいに拭いて、除菌消臭剤を噴霧するようにしましょう。